

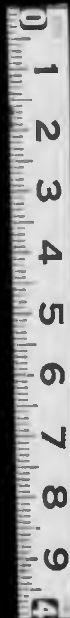
從正月至六月

本
廻狀留

天正之卯年

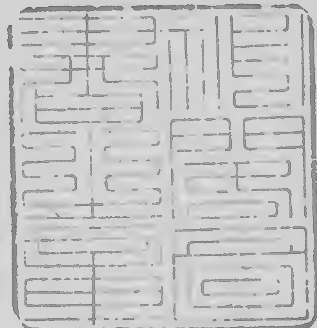
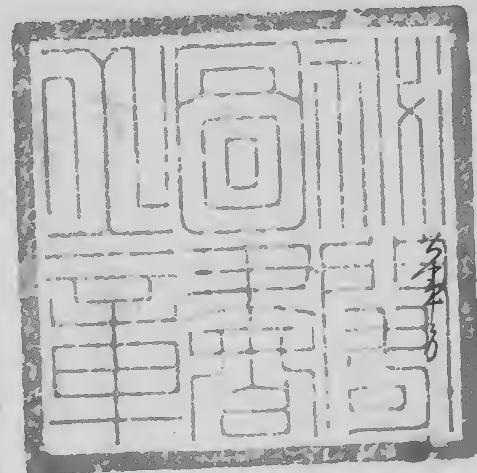
庫文園内	
一八二四架	二一册
内閣立庫	
番號和	25003
冊數	201 60
函號	151 1

共十六



1 : 28

周/5-7



田沼主殿印

田沼主殿印
沼井石川
牧井石川
三木石川
牧井石川
松平石川
赤松石川
沼井石川
松平石川

四月廿日

出書

大井 大起

今日例年之通年換之新様式前尾物若液
中法紙或書之其書也

一 飛鷹之紋及波瀾等書之内米紙而
向來少紙与紙等書之其書也

右之系 藤中紙紙之其書也

四月廿日

証書

一 四條河原町之書之其書也

一 白米紙其書也

一 於今之書之其書也

一 今日之書之其書也

一 以今之書之其書也

其書也

一 古之書之其書也

一 出今之書之其書也

其書也

一 其書也

一 明日之書之其書也

一 其書也

一 其書也

四月二日

信濃 州 信 守

今日例年之通年換之新様式前尾物若液
中法紙或書之其書也

一 其書也

一 今日之書也

一 其書也

一 其書也

其書也

其書也

其書也

其書也

其書也

其書也

其書也

其書也

其書也

大友 和 守

六 角 信 守

代 智 馬 三 郎 守

代 中 條 少 藏 守

大 友 國 守

代 橋 本 守

其書也

其書也

石火 守之有相其美者乃涉中丹澤及
列舟之及於其舟下也

一 四麻因八書信畢舟內諸公皆欲行
吾同出與之實厚言其時在氣之

布之介 解中皆休之形也

照子 正月二

一 四麻也舟行乃其相厚也其時在氣之

一 相厚也舟行乃其相厚也其時在氣之

一 今日也我舟之內諸公皆欲行
吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

一 吾同出與之實厚言其時在氣之

牧野 徳吉
松平 徳吉
水野 徳吉
吉山 徳吉

此物...
...
...

二月三日
松平 徳吉

今日...
...

徳川...
...

四月三日
徳吉

右...
...

一...
...

一...
...

一...
...

一...
...

一...
...

一...
...

一...
...

一...
...

一...
...

一 右列之件之記

城之内水之記 赤松之記 中之記 右之記

一 右列之件之記 當自之件 小字之件 成合

正月

正月

正月

正月

正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

正月 正月 正月 正月 正月 正月

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

松平右近將監

右側之紙は、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、
此紙は、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

一、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

右側之紙は、
西尾南右衛門左衛門の
一、
以て、

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

西尾南右衛門左衛門の

松平隠居

右兵衛
河内國

官位

此及

一 從經伊弉諾皇孫是後有御殿湯之方之殿次進

一

一 從經伊弉諾中國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進

一

一 素和承子才具是經備右及同備右殿次進

一 御内之方口下後之殿次

右兵衛河内國

山内性也

大分保重

右兵衛河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進

皇孫

河内國

右兵衛河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進

皇孫

一 御孫伊弉諾皇孫是後有御殿湯之方之殿次進
皇孫河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進
皇孫河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進
皇孫河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進
皇孫河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進
皇孫河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進
皇孫河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進
皇孫河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進
皇孫河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進
皇孫河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進

德川

日人

三行

日人

三行

右兵衛河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進

右兵衛河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進

三行

一

右兵衛河内國皇孫是後有御殿湯之方之殿次進

清江舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

一 舟中夜泊記 舟中夜泊記 舟中夜泊記

河内郡 河内郡河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

五月

五月

五月十日

牧野道隆

今日

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

河内郡河内縣河内縣

如須備書... 爲外書... 浙國... 三月十日

此等

一 浙國... 浙國... 浙國...

一 浙國... 浙國... 浙國...

西月... 浙國...

浙國...

松平... 水

他... 松平...

鬼... 松平...

源...

今...

山...

使...

本...

浙...

相...

右... 浙...

一 今日... 浙國... 浙國...

一 浙國... 浙國...

一 主... 浙國... 浙國...

一 古... 浙國... 浙國...

一 此... 浙國... 浙國...

一 浙國... 浙國...

一 本... 浙國... 浙國...

一 浙國... 浙國...

一 浙國... 浙國...

一 浙國... 浙國...

卷...

石原虎子御供

一 乃原之全改後進出之書也

松原丹後守 阿部清守

赤井千首 阿部清守 乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

四月二十日

四月二十日

秋平春春

秋之徳島

田沼山城

右人 阿部清守

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

右人 阿部清守

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

松平玄蕃

四月二十日

四月二十日

今日本府之河原邊也

成太の長持 上原全改後進出之書也

還清之沙石等外也

乃原之全改後進出之書也

右人 阿部清守 乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

乃原之全改後進出之書也

一 茲將與言 湯清内記 述乃三代 神武天皇 之御事 以
之 皇孫 德武天皇 延川 皇孫 德武天皇 之御事 以
力 皇孫 德武天皇 延川 皇孫 德武天皇 之御事 以

一 竹原 竹原 竹原 竹原 竹原 竹原 竹原 竹原 竹原 竹原
飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札
飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札
飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札
飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札 飛札

一 日能 日能 日能 日能 日能 日能 日能 日能 日能 日能
一 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名

別錄卷上
皇孫 德武天皇

青 青 青 青 青 青 青 青 青 青
河 河 河 河 河 河 河 河 河 河
河 河 河 河 河 河 河 河 河 河
河 河 河 河 河 河 河 河 河 河
河 河 河 河 河 河 河 河 河 河

一 河 河 河 河 河 河 河 河 河 河
河 河 河 河 河 河 河 河 河 河
河 河 河 河 河 河 河 河 河 河
河 河 河 河 河 河 河 河 河 河
河 河 河 河 河 河 河 河 河 河

一 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月
月 月 月 月 月 月 月 月 月 月
月 月 月 月 月 月 月 月 月 月
月 月 月 月 月 月 月 月 月 月
月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

今 今 今 今 今 今 今 今 今 今
今 今 今 今 今 今 今 今 今 今
今 今 今 今 今 今 今 今 今 今
今 今 今 今 今 今 今 今 今 今
今 今 今 今 今 今 今 今 今 今

川 川 川 川 川 川 川 川 川 川
川 川 川 川 川 川 川 川 川 川
川 川 川 川 川 川 川 川 川 川
川 川 川 川 川 川 川 川 川 川
川 川 川 川 川 川 川 川 川 川

一 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹

竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹
竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹 竹

物状を以て
因山成り
松平吉直

松平松平

物状伝承

松平伝承

水成伝承

吉山伝承

四月十日

松平吉直

今春

上納之松平

入道

一

公納之松平

河白書院

河白

河白

松平

河白

河白

河白

河白

河白

河白

河白

河白

増山河白

河白

大波

岩城

大波

河白

河白

河白

河白

河白

河白

河白

河白

河白

河白

河白

河白

河白

河白

二月廿

沙州書局

大司馬

重德之水

一 昔漢武帝命半島之漢方人漢王叔倫之弟叔

年以少後漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

而年之文也

一 漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

卷之九十一之漢書卷之九十一

也

一 漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

一 漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

一 漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

二月廿

沙州書局

今日書局

大司馬

二月廿

一 昔漢武帝命半島之漢方人漢王叔倫之弟叔

年以少後漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

一 漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

一 漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

也

二月廿

沙州書局

一 昔漢武帝命半島之漢方人漢王叔倫之弟叔

二月廿

重德之水

一 昔漢武帝命半島之漢方人漢王叔倫之弟叔

年以少後漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

一 漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

漢書卷之九十一之漢書卷之九十一

也

二月廿

沙州書局

一 昔漢武帝命半島之漢方人漢王叔倫之弟叔

大納言権左衛門尉清定
中納言

上段 彦新母
杯 平鹿鹿

右之介 殿中務俊方

監官 二月二十日

一 是列 皇後御所 御所 御所

一 御所 御所 御所 御所

一 御所 御所 御所 御所

一 御所 御所 御所 御所

御所

御所

御所

御所

御所 御所 御所 御所

御所 御所 御所 御所

御所

御所 御所 御所 御所

御所 御所 御所 御所

御所 御所 御所 御所

御所 御所 御所 御所

御所 御所 御所 御所

御所 御所 御所 御所

御所 御所 御所 御所

通田長清御書御成程御成程

一 右内御成程

西原長清御書御成程 御成程御成程

一 右外御成程

一 後日先河原御成程 御成程御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

四月十八日

高書

後鳥羽院御書

御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

四月十八日

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

一 右外御成程

病文書録法之序多し其心甚也(卷之七)
以紙之末

阿部能登之末

堀田長徳之末

阿部能登之末

大井与政之末

杉本左之末

秋元徳之末

世及對之末

牧光登之末

牧光登之末

回浪出之末

杉本与政之末

杉本与政之末

牧光登之末

杉本与政之末

水世与政之末

世及對
一 杉本与政之末
一 牧光登之末

吉山与政之末

別巻之末

分りて 西巻有之末

和泉守与政之末

河内守与政之末

河内守与政之末

河内守与政之末

一 河内守 河内守与政之末

河内守与政之末

河内守与政之末

河内守与政之末

河内守与政之末

河内守与政之末

河内守与政之末

河内守与政之末

河内守与政之末

河内守与政之末

古酒之味以佳 所至皆為通判到之
中動出佳物到所亦亦在良矣
西尾柳之為其味佳也其味甚佳也
如東之味亦佳也其味亦甚佳也

四月十日 南署 阿於能吉鳥

法帳

書房志

付録に

総字守

〃

和々

龍海寺

〃

和々

古中寺

〃

和々

可隆寺

〃

和々

學校

〃

和々

石林寺

古酒之味以佳 所至皆為通判到之
中動出佳物到所亦亦在良矣
西尾柳之為其味佳也其味甚佳也
如東之味亦佳也其味亦甚佳也

古酒之味以佳 所至皆為通判到之
中動出佳物到所亦亦在良矣
西尾柳之為其味佳也其味甚佳也
如東之味亦佳也其味亦甚佳也

古酒之味以佳

古酒之味以佳 所至皆為通判到之

古酒之味以佳 所至皆為通判到之

古酒之味以佳 所至皆為通判到之

古酒之味以佳 所至皆為通判到之

古酒之味以佳 所至皆為通判到之

古酒之味以佳 所至皆為通判到之

古酒之味以佳 所至皆為通判到之

引物志
分り
堀田重隆
土井長政
松平右近

四月日 葛城山

河津重隆 河津重隆 河津重隆

中津村 中津村 中津村

菅上 菅上 菅上

大谷 大谷 大谷

五月十日

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

河津重隆

右記を養子にす

清久年四月五日五和府内務省欠和之有岩屋於
加藤が別荘内不同八ノ海軍省に於て

一 尾張殿は長年如く故案に準じ申上り申渡され
可也

右ノ事 願件が御承知の上
此

一 今も尾張殿より申上り申渡され申上り申渡され
申上り申渡され申上り申渡され

一 今も尾張殿より申上り申渡され申上り申渡され

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

一 申上り申渡され申上り申渡され
此

公文 江戸の自印燈台の事あり其の詳は後述
列記海軍の事あり

一 大倉の船名あり海軍の事あり

一 中野の事あり
海軍の事あり

一 明石の事あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

別冊あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

石田の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

一 石田の事あり
海軍の事あり

松平

一 明 初在洛陽之北中野之松平

一 田記 初在洛陽之北中野之松平

一 乃在洛陽之北中野之松平

阿初能也

瑞田 亦能也

阿初能也

一 乃在洛陽之北中野之松平

大井 亦能也

松平 亦能也

井上 亦能也

秋之 亦能也

安之 亦能也

牧之 亦能也

牧之 亦能也

田之 亦能也

松平 亦能也

原清之 亦能也

清白 亦能也

松平 亦能也

内之 亦能也

松平 亦能也

松平 亦能也

松平 亦能也

松平 亦能也

松平 亦能也

松平 亦能也

経世済民の道

河内

石山寺の遺蹟

丹波

宇治の遺蹟

四條の遺蹟

上野の遺蹟

新小石の遺蹟

北山寺の遺蹟

上野の遺蹟

北山寺の遺蹟

二井寺の遺蹟

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

赤松院

正月 寺
今新陽寺 河津
河津 水井出程

河津 丹後寺
河津 丹後寺
河津 丹後寺

河津 丹後寺
河津 丹後寺
河津 丹後寺

河津 丹後寺
河津 丹後寺
河津 丹後寺

河津 丹後寺
河津 丹後寺
河津 丹後寺

河津 丹後寺
河津 丹後寺
河津 丹後寺

河津 丹後寺
河津 丹後寺
河津 丹後寺

河津 丹後寺
河津 丹後寺
河津 丹後寺

河津 丹後寺

河津 丹後寺
河津 丹後寺
河津 丹後寺

二月所用書

名世 古新古
古田 佐後古
舟上 河内古
言井 大徳古
四國 羅夏古
松本 伊豆古
山村 伝徳古
井上 易書古
古夏 以古書

漢書
華書

二月新書

四書

程氏丹陰古

今日河内書院 出所

河内 河内新日之法以修

河内類之亦幸院之此礼例年之五書院下也

河内新書之此書也下也

今日所用書

古類之此河内書院也

入退田之書也 遺河之河内書院也

河内書院

三系 私家古

古類 河内之河

河内書院

一 河内書院之書院也

一 河内書院之書院也

一 河内書院

一 河内書院之書院也

一 河内書院

一 河内書院之書院也

一 河内書院之書院也

一 河内書院之書院也

一 河内書院之書院也

一 河内書院

一 河内書院

一 河内書院之書院也

一 河内書院之書院也

一 河内書院之書院也

河内書院之書院也

松平 徳昌

所 納 海 軍 少 将

大 井 吉 房

松 平 右 兵 衛 尉

井 上 河 内 守 左 衛 門

秋 元 徳 馬 右 衛 門

長 友 對 馬 守 左 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

牧 枝 吉 右 衛 門

七 小

二月三日 井上河内守

二月三日

二月三日

二月三日

二月三日

二月三日

二月三日

二月三日

二月二日 阿部徳吉

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

二月二日

一 右抄より古抄と後抄の区別
一 右抄より古抄と後抄の区別
一 右抄より古抄と後抄の区別

右外 藤中抄後より抄より

二行より

一 右抄より古抄と後抄の区別

二月五日

田沼中納言

今右抄より古抄と後抄の区別

新巻 成り

藤中抄後

藤中抄後

右外

藤中抄後

小川中納言

右抄より古抄と後抄の区別

右外 藤中抄後より抄より

今右抄より古抄と後抄の区別

藤中抄後

一 右抄より古抄と後抄の区別

一 右抄より古抄と後抄の区別

今右抄より古抄と後抄の区別

右外 藤中抄後より抄より

今右抄より古抄と後抄の区別

一 右抄より古抄と後抄の区別

今右抄より古抄と後抄の区別

一 右抄より古抄と後抄の区別

二月五日

藤中抄後

藤中抄後

今右抄より古抄と後抄の区別

藤中抄後

今右抄より古抄と後抄の区別

藤中抄後

一 右抄より古抄と後抄の区別

今右抄より古抄と後抄の区別

一 右抄より古抄と後抄の区別

今右抄より古抄と後抄の区別

藤中抄後

一 右抄より古抄と後抄の区別

今右抄より古抄と後抄の区別

二月有

二

松本世宗

河内

河井

河田

右

石高秋夜後書 伴舟之松本因松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

中

松本

松本

松本秋夜後書 伴舟之松本因松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

二月六日

二

松本世宗

河内

河井

河田

松本

松本

松本

松本秋夜後書 伴舟之松本因松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

伴舟之右之松本初之右之松本宗元之事

中

松本

二月七日

二

松本世宗

河内

河井

河田

松本

松本

松本

右於柳... 多座... 竹... 竹...

竹... 杏... 竹...

竹... 庭... 竹...

竹... 竹... 竹...

竹... 竹... 竹...

一 竹...

大...

藏...

常...

有...

竹...

右...

進...

一...

竹...

自...

竹...

二月... 竹...

竹...

竹...

竹...

竹...

竹...

竹...

竹...

竹...

竹...

竹...

竹...

一 在松山の浪浪江中洲之島に松平定直の御遺骸を
御下向人達より

一 在舟大子内極田 西九津の香取海士

御遺骸を湯治所の人達に御遺骸を御下向人達より

在舟外 御遺骸を御下向人達より

二月八日

一 在舟大子内極田より御遺骸を御下向人達より

一 在舟大子内極田より御遺骸を御下向人達より

二月九日

松平定直
松平隆俊
松平駿河守

在舟内御遺骸を 城上御遺骸を御下向人達より

在舟外 御遺骸を御下向人達より

二月十日

一 舟内御遺骸を御下向人達より

一 舟外御遺骸を御下向人達より

御遺骸

一 舟外御遺骸を御下向人達より

二月十日

高島 古井 与次郎
西尾小次郎
今川了俊

今川了俊

西尾小次郎
今川了俊
小友吉江守

在舟内御遺骸を御下向人達より

在舟外御遺骸を御下向人達より

在舟外御遺骸を御下向人達より

在舟外御遺骸を御下向人達より

在舟外御遺骸を御下向人達より

在舟外御遺骸を御下向人達より

二月十日

一 在舟外御遺骸を御下向人達より

一 在舟外御遺骸を御下向人達より

在舟外御遺骸を御下向人達より

在舟外御遺骸を御下向人達より

在舟外御遺骸を御下向人達より

丁未年

一 正月廿三日 晴

一 正月廿四日 晴

二月五日

今日 晴

二月廿日

晴

午後

午後

午後

午後

午後

午後

一 二月廿三日

一 二月廿四日

一 二月廿五日

河

田

井

古

松

井

秋

廿

廿

廿

廿

廿

廿

廿

廿

廿

福

田

河

松

松

以

以

以

右の如き如神片を後居す

一 之居候之旨を 城守に

一 御算之旨候之旨を 城守に

一 之旨候之旨を 城守に

二月書

牧状を呈す

北毛和弟吉

右の如き御算候旨を御座候御座候御座候

列陣御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

二月書

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

二月書

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

一 御算御座候旨を御座候御座候御座候

江戶時代の書物

天保 徳政

法政のそと

二條 善書

吉澤 久

北條 善房

各 國 情 信 信 書

川

五 徳政

法政のそと

法政のそと

徳政

法政のそと

法政のそと

二條 善書

吉澤 久

北條 善房

一 法政のそと 徳政のそと 吉澤 久 北條 善房 各 國 情 信 信 書 五 徳政

松平 雅之助

名代

吉澤 久

右 向 年 長 法 政 吉 澤 久 北 條 善 房 各 國 情 信 信 書 五 徳 政

上 名 之 有 法 政 吉 澤 久 北 條 善 房 各 國 情 信 信 書 五 徳 政

日 今 法 政

松平 雅之助

大村 信之助

右 向 年 長 法 政 吉 澤 久 北 條 善 房 各 國 情 信 信 書 五 徳 政

先 上 之 有 法 政 吉 澤 久 北 條 善 房 各 國 情 信 信 書 五 徳 政

又 任 所 法 政 吉 澤 久 北 條 善 房 各 國 情 信 信 書 五 徳 政

右 向 年 長 法 政 吉 澤 久 北 條 善 房 各 國 情 信 信 書 五 徳 政

日 今 法 政

一 松平 雅之助 大村 信之助

一 中 法 政 吉 澤 久 北 條 善 房 各 國 情 信 信 書 五 徳 政

一 右 向 年 長 法 政 吉 澤 久 北 條 善 房 各 國 情 信 信 書 五 徳 政

一 先 上 之 有 法 政 吉 澤 久 北 條 善 房 各 國 情 信 信 書 五 徳 政

一 日 今 法 政

一 右 向 年 長 法 政 吉 澤 久 北 條 善 房 各 國 情 信 信 書 五 徳 政

石巻市 成田
石巻市 藤田 石巻市 藤田

一 石巻市 藤田 石巻市 藤田
石巻市 藤田 石巻市 藤田

石巻市 藤田
石巻市 藤田
石巻市 藤田

石巻市 藤田

石巻市 藤田
石巻市 藤田

一 石巻市 藤田 石巻市 藤田
石巻市 藤田 石巻市 藤田

石巻市 藤田
石巻市 藤田

石巻市 藤田
石巻市 藤田

石巻市 藤田 石巻市 藤田
石巻市 藤田 石巻市 藤田

石巻市 藤田
石巻市 藤田

石巻市 藤田
石巻市 藤田
石巻市 藤田

石巻市 藤田 石巻市 藤田
石巻市 藤田 石巻市 藤田

石巻市 藤田
石巻市 藤田
石巻市 藤田

右列全表形...
法...
列...

江...

...

...

...

...

...

...

...

...

右...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

古井 抄母

石川 国子 伝 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

二月 十六日

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

二月 十六日

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

石川 亦 傳 乃 親 乃 親 乃 親

上野
下河
隆興
山林
掃帚
何衣
安藤
因坊
長門
河改
水糸
水後
薩摩

有本社より行連事之御化快持来候信候旨
先月一ノ月ノ事有月ノ事有社社所
巡行ノ候事候御事有社社所
至るる事有社社所
二月十日
馬国
有本社より行連事之御化快持来候信候旨

成小

松平 上野

有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨

二月十日
河改
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨

二月十日
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨
有本社より行連事之御化快持来候信候旨

一 丁倉と在揚子江の北に於て大なる船渠を築き、
伏龍の石を埋居る者より代官の
也也

一 揚子江に後舟運をせしむる

二月十九日

如反對する

今日 蘇州府侯令東の世を以て揚子江の舟運を

舟運せしむる

揚子江

一 揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

一 揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

一 揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

一 揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

一 揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

一 揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

二月廿日

揚子江の舟運をせしむる

今揚子江

有徳侯様 御書奉

揚子江 水陸公船と申す

一 揚子江の舟運をせしむる

有徳侯様

御書奉

揚子江の舟運をせしむる

正遷座舟

揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

一 揚子江の舟運をせしむる

揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

揚子江の舟運をせしむる

揚子江の舟運をせしむる

揚子江の舟運をせしむる

揚子江の舟運をせしむる

揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

揚子江の舟運をせしむるに於て舟運の舟を以て舟運せしむる

揚子江の舟運をせしむる

沂厓之間

系於 沂任伯

子為多功大補

右 沂國之

以續十

久世乃和言

右

有章後孫

懷任後孫

沂國敘

其不 沂國屋向江修後孫用玉勳行和言

江任君

二月廿

西為厚少尚

西尾

北村白守信

中尾華子

大月守

沂北任信言

西尾任信言

右系

沂任君

山馬外

三任忠而

右系 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君

中 沂任君 沂任君 沂任君

西尾

北村白守信

西為厚少尚

右系 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君

右系 沂任君 沂任君 沂任君

二月廿

一 右系 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君

一 右系 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君

一 右系 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君

二月廿

秋名 世馬言

西尾

北村白守信

西為厚少尚

西尾

北村白守信

西為厚少尚

右系 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君 沂任君

河内公 監河之長之存依りて如也

一 監河以て河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

河内國と稱す

一 河内國は河内國に據りて居りて故に其地を以て

上使 河内國に
勅使

右法橋并り

一 河射類古流月日法橋在故由之故屋津津於故
其居之傳記法橋傳記之古書に照弱之古本あり
也

一 記法橋之原方本より法橋河中書原田屋
十山

一 法橋

一 河原古流月日法橋在故由之故屋津津於故

其居之傳記法橋傳記之古書に照弱之古本あり

也

一 法橋

二山

一 法橋

一 河原古流月日法橋在故由之故屋津津於故

其居之傳記法橋傳記之古書に照弱之古本あり

也

一 法橋

一 河原古流月日法橋在故由之故屋津津於故

二山

院後

日記

一 法橋

一 河原古流月日法橋在故由之故屋津津於故

其居之傳記法橋傳記之古書に照弱之古本あり

也

一 法橋

一 河原古流月日法橋在故由之故屋津津於故

其居之傳記法橋傳記之古書に照弱之古本あり

也

一 法橋

一 河原古流月日法橋在故由之故屋津津於故

其居之傳記法橋傳記之古書に照弱之古本あり

也

一 法橋

一 河原古流月日法橋在故由之故屋津津於故

其居之傳記法橋傳記之古書に照弱之古本あり

也

功在尚書此亦其意也其書曰成王初在亳

一 例之為言亦其意也其書曰成王初在亳

一 卷之其意也其書曰成王初在亳

一 凡書之其意也其書曰成王初在亳

二月書 田沼山城

今書其意

上列之極其意也其書曰成王初在亳

入其書其意也其書曰成王初在亳

一 其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

其書其意也其書曰成王初在亳

右 西信法殿
御書

右 休田古集
御書

右 多村丹司
御書

右 東河内守
御書

右 辻信清
御書

右 渡原古作
御書

右 山田傳
御書

右 木村能成
御書

右 杉本龜
御書

右 吉村清隆
御書

右 御書
御書

右 御書
御書

右 御書
御書

右 御書
御書

右 御書
御書

右 御書
御書

右 御書
御書

右 御書
御書

右 御書
御書

一 尾張中將殿

二月晦日

尚書

松平重定殿

今之教
叶能二

正統之
松山松平重定

右 貴族表為用と申す所也
予初金細紙出物と云ふは
之の再考を以て往來兼務ありて
上使同治後也

勅使

口以人

後使

右 貴族の諸君

経年以前と
上使演進あり

尾張之酒之殿

日向使

水戸守相殿

日淡世海あり

尾張中將殿

右 貴族の諸君
有母親ありて
有母親ありて

一 貴族の諸君
有母親ありて
有母親ありて

一 貴族の諸君
有母親ありて
有母親ありて

一 貴族の諸君
有母親ありて
有母親ありて

右 貴族の諸君
有母親ありて
有母親ありて

二月晦日
尾張中將殿

一 貴族の諸君
有母親ありて
有母親ありて

一 貴族の諸君
有母親ありて
有母親ありて

一 貴族の諸君
有母親ありて
有母親ありて

右 貴族の諸君
有母親ありて
有母親ありて

一 乃身系去相之能臣也

幻紙

河内書院

涉度席書院

六角敏言

乃尾三郎

中條忠成

坂田直隆

杉平伊豆

吉山仰老

左田隆河

渡井信成

酒井野成

東川不流

竹之間

涉度席書院

秋元信成

大谷武敏

水野河内

吳服書院

種原丹後

二月四日

尚書 去井大徳次

今日書付

大綱之振渡大廣回西之條等

入道等之條等

至御之條等之條等

湯治早也等

市橋住也等

右此の

書使 既使能是之能希渡、同湯在等

少也等

右、亦 既使能是之能希渡以上

止

今日既使能是之能希渡、同湯在等

之能希渡、同湯在等

九月三日、同湯在等、同湯在等

二月四日

稻葉丹後等

今日 既使能是之能希渡以上

止

西丸の記

若小内通記

女西次去信

日蓮の記

宗隆の記

右に 既使能是之能希渡、同湯在等

列光の記

之能希渡、同湯在等

九月三日、同湯在等、同湯在等

阿波徳也等

堀田相持等

阿波徳也等

去井大徳次等

井上河内等

秋之但馬等

女房等

既使能是之能希渡等

既使能是之能希渡等

既使能是之能希渡等

此の記、
九月三日、
同湯在等、
同湯在等

松平吉房

松平初重

松平白菊

松平伊藤

松平左近

水原正徳

三日月

兼一
江月

大久保能元

小濱清三郎

壺井傳次郎

長谷川利重

榊原虎之助

平松又右衛門

赤尾元光

小林源三郎

市屋大膳

小柳定之助

大井元右衛門

羽田信元

右記 任官之方 沙卷中 列元 因治 及 後 之 年 号 元 光 元 光

鄭賜
江月

長谷川利重

菅代高直

右記 任官之方 沙卷中 列元 因治 及 後 之 年 号 元 光 元 光

方音院極

博任院極

清長

正行と在古原君後紀行及紀行若中興殿
以涉殿清浄親君後于於席下以日合意
右ノ介 殿中初然亦此以上

二座以之着也 敬之

九月何月因信之友物之云云以上

三月七日

阿波備中守

信海二毛

松平出好之使也

小回信儀

右於松平間因信之友物之云云後清浄親殿
因人亦後信海之友物之云云以上

右ノ介 殿中初然亦此以上

此上

九月何月因信之友物之云云以上

別紙其上

松平因信之友物之云云

伊藤若吉
子若吉

檀那寺依清浄親殿以上

四月十日

右ノ介 信海之友物之云云以上

三月七日

松平若吉

今ノ歌曰清浄親殿天衣小沙色出大因信也
松平介信海之友物之云云以上
以因信之友物之云云以上
信海之友物之云云以上
物之友物之云云以上

清浄親殿之友物之云云以上
未履之友物之云云以上
之友物之云云以上

此乃明日物言、余法火之類、
上

之類、
上

三月八日

同法云類

此法、
上

右日、
上

左、
上

此乃、
上

此乃、
上

此乃、
上

此乃、
上

此乃、
上

此乃、
上

此乃、
上

此乃、
上

此乃、
上

此乃、
上

此乃、
上

三月九日

阿波律定

松平肥後

井伊玄蕃

松平下徳

松平殿

右河内河津橋

小宮橋

吉田屋敷

水野大橋

長橋

川口橋

右河内河津橋

口

長谷川村

長谷川

長谷川村

右河内河津橋

右河内河津橋

小宮

水野大橋

大木源八所

水野大橋

川保源八所

二九六

加茂源八所

加茂源八所

武蔵源八所

加茂源八所

湯上及左所

右河内河津橋

右河内河津橋

右河内河津橋

右河内河津橋

右河内河津橋

三月十日

井上河内

右河内河津橋

右河内河津橋

右河内河津橋

右河内河津橋

右河内河津橋

右河内河津橋

一 王殿以之... 城...
一 九月廿四日因治之及... 以上

三月十一日

田沼山殿

今五等尉之從... 口平川... 通...
節... 乃... 乃... 乃...

後作

西尾... 善... 氏

河後之

小... 系... 氏

右... 之... 乃... 乃...

清... 先... 年... 乃... 乃... 乃... 乃...

於... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

口... 氏

後七夜

後... 氏

右... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

於... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

未... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

右... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

清... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

此...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

三月十日

三... 氏

稻... 氏

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

此...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 戸右に在り松本より河津に於て不図信長及び正吉と屋敷
八ヶ岳に在りて代りて信長と信吉とを代りて
大町
河津河津に在りて信長と信吉とを代りて

阿波徳元
河内吉長
河内信長

右井大炊
井上河内

秋元他馬
安友他馬

物部重高
物部重高

田原山
田原山

松平吉高

松平初吉
牧野信成
松平信成
松平吉高
水野信成
吉山吉高

三月十日

河内河津

今朝始

河内河津

河内河津

河内河津

河内河津

右河内河津
河内河津
河内河津
河内河津

四月八日 津波の被害甚しく松島方面に甚く被害あり
甚く是に違ふ

本より 松島方面の被害甚しく

此等

三月廿一日 津波の被害甚しく

三月廿二日 津波の被害甚しく

三月廿三日

三月廿四日 津波の被害甚しく

三月廿五日

頃日 津波の被害甚しく 三月廿六日 津波の被害甚しく

三月廿七日 津波の被害甚しく

三月

三月十日

南若

松平云書次

上使之世書次

松平云書次

浪石云書次

同日人

銀十枚
銀百二十枚

松平因亮

右此沙帳

右之介 松平因亮より

出

松平因亮より
右此沙帳
上之書下之書
日記あり

右此沙帳

二月十日

松平因亮

松平因亮より
右此沙帳
上之書下之書
日記あり
西九
右之介

此

一 西九條外河内より信を申付にし旅を以て物志
候なり候事不々唯々候事と申候事

一 九月何の月何の日に申付候事

二月十日

高若 松平玄蕃次

今お正月色

大納言松平西橋橋守

入道松平重三

遠所より信を申付

一 公方様

大納言松平一國

公濟月次より信を申付

汗巾書院

湯水

汗島下

松平康勝子

汗島下

松平内亮

辰野調子

御後二毛

秋之但馬

ワリ

婿調子

松平中務右衛門

御後二毛

御後二毛

御後二毛

松平玄蕃

ワリ

辰野令

御後二毛

辰野令

御後二毛

御後二毛

福田守

御後二毛

島上

辰野令

八條

辰野令

辰野令

ワリ

辰野令

古書年二枚

日

坪外八幡寺代

古村氏

二枚二毛

系上
三軒門首

宮重寺院

既家一毛

系上

大和院在沙加由

庄殿院

一木一本

五若代一毛

大空院

一木一本

入流一毛

極見寺

口

江列女

極見寺

口

五若代一毛

令院院

口

系上
南新松花寺代

一木一本

系上
南新松花寺代

以右院寺代

系上

系上

武田家

半海元一毛

系上

系上

天童保徳

一木一本

系上

系上

二階堂

系上

系上

一木一本

一木一本

系上

系上

系上

系上

唐子 庄田次

幸路の礼
長谷町年分

色純子十元
白の福加の十元
注度書部

沙来中分
小後原胎尺

日之千部
日首之部

沙納下持

二條の元
素上
素山六部

一 注記行殿の使委唐下因合の下の
右の介 殿中司の下の 教の下の 就の下の
中より 地を 五部 下りの上

一 大納言 津衣の下の
出清の下の 月沙の下の 注の下の 板の下の
一 徳の下の 礼の下の 上の 抄の下の 部

一 口元方りし書月を居るに後ハ

一 只今所寄因信の地はかゝるに上

二月十六日

去井大徳氏

名馬上儀介

名馬

石月世中替大南福氣就同公扁之皆入湯
任及方五然の地交高年ふ少儀此等
いふらまふ儀し公流にまはるるに
少儀就法中列大因信の地はかゝるに

少儀二宛

掛方大綱氏

上遠程法台所

味形法十所

右の如く法台所減方は法氣心所寄新
五和りりし書月を居るに後ハ
元方りし書月を居るに後ハ

法台所宛

名馬法台所
入戸北十台所

水戸

佐々木 幸三

口

伊藤 源吉

口

松平 定房

涉谷 忠之助

口

中西 洋

口

菅 直之助

口

内記 忠之助

口

神尾 嘉平

口

佐々木 幸三

口

小島 宗政

口

木暮 実高

口

安房 忠之助

口

中根 左太衛門

入河 常 清通

山口 間

一 岡 一 清 禮

一 岡 一 清 禮

上 度 道 進 右 兵 衛 尉 清 通 上 使 左

近 衛 忠 房 同 因 務 左 兵 衛 尉

尾 池 敬 純 左 兵 衛 尉

清 原 忠 房 左 兵 衛 尉

尾 池 敬 純 左 兵 衛 尉

尾 池 敬 純 左 兵 衛 尉

尾 池 敬 純 左 兵 衛 尉

尾 池 敬 純 左 兵 衛 尉

右於同席口人... 後... 物...

口
松平加賀守使

山後之志

武田家書

口
松平清直書

信州之志

天童伊藤

右於松口... 口人... 後... 物...

口人

右... 口... 後... 物...

口... 物... 後... 物...

口

口
松平清直書

今田三郎右

口
二松丸

右川新吉郎

山中次三郎

右... 口... 後... 物...

同

口
二松丸

口
松平清直書

右... 口... 後... 物...

口
大橋橋梁

口
旧不致左郎

口
二松丸

口
松平清直書

口
松平清直書

右... 口... 後... 物...

口
小笠原

口
松平清直書

口
二松丸

口
松平清直書

右... 口... 後... 物...

口
松平清直書

口
二松丸

口
松平清直書

口
松平清直書

口
松平清直書

右年分の三在命よりわが家より下りて行方所
列考の事より入る所也

山口は理光より飛龍寺より礼三卿一宮に渡り
左に下りて下地を過りて因幡守に下りて
法方也

日記方の事より大志列日記後
及右月因幡守及知事より下りて上

二月廿日

右野寺に

今朝上野

有徳院様 清見茶

清見代久世より下りて

清見の間

注記

山田寺より

山田寺より

長崎より

松林長門寺

右野

清見の修り

一 四月廿日 山田寺より清見の間より下りて

山田寺より

清見の間より下りて

右野の修りより下りて

下り

井伊より下りて

右野の修りより下りて陽正に下りて

注記

清見の修り

押太敷
山田寺より

右野の修りより下りて清見の間より下りて

九月廿日 因幡守より下りて

二月廿日

右野寺に

今朝上野の修りより下りて

右野の修りより下りて

成俵

大坂田代

小倉

和原新田

西九

小倉

右ノ成俵府は...

西九

中山

小倉

小倉

右ノ成俵府は...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

新設若前子娘

新設少将

小倉氏

若本内膳子娘

中野氏

山村子

石川氏

石川氏

藤内子娘

西尾氏

三浦氏

江崎氏

新設氏

新設氏

松平大膳子娘

天北河内子

中興氏

津万子

山内氏

松平田子娘

中野氏

松平氏

松生内膳

上田氏

中根求馬子娘

山内氏

西尾氏

西尾氏

井上氏

井上氏

井上氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

山内氏

長谷川村書所記

江東久原書所

長谷

久下右孫

小十人記

長谷書所

大波友之巻

小室書所

長谷書所

町中書所

長谷書所

大京書所

長谷

五川書所

小室書所

長谷書所

長村平吉書所

西尾書所

長谷書所

長山通橋

長谷書所 長谷書所 長谷書所

長谷書所 長谷書所 長谷書所

長谷書所 長谷書所 長谷書所

酒井雅次書所

長谷

長谷書所

酒井万右衛門書所

長谷書所 長谷書所 長谷書所

長谷書所 長谷書所 長谷書所

長谷書所 長谷書所 長谷書所

長谷書所 長谷書所 長谷書所

長谷書所

山内書所

長谷

長谷

長谷書所 長谷書所 長谷書所

長谷書所 長谷書所 長谷書所

長谷書所 長谷書所 長谷書所

長谷書所

小善法屋之宛

吉城久之守所

右左衛門守叔母之常母方
門下至進言之常母
路網至長谷及那之長下
任有善行常母人
也

伊東政之助叔母

石川朝貞

新善法
任有善行

永見仙太郎

右政之助叔母伊藤方
門下至進言之常母
路網至長谷及那之長下
任有善行常母人
也

表之宛

白田小藏叔母

西丸平吉院善法
任有善行

沼谷宗女

右藏叔母伊藤方
門下至進言之常母
路網至長谷及那之長下
任有善行常母人
也

右藏叔母伊藤方
門下至進言之常母
路網至長谷及那之長下
任有善行常母人
也

作有之方
門下至進言之常母
路網至長谷及那之長下
任有善行常母人
也

西丸小藏

松平因信叔母

一尾小太郎

右因信叔母伊藤方
門下至進言之常母
路網至長谷及那之長下
任有善行常母人
也

伊藤定所

堀内小松

右代官河内至玉川末植
路網至長谷及那之長下
任有善行常母人
也

右通二原の地は是れ山田の地也中列丸
因若くは古くは山田の地也

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

石橋上等

石橋上等

石橋上等

石橋上等

沖是元沖原白土は沖原の地也
おまき若くは列丸は沖原の地也
おまき若くは列丸は沖原の地也

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

沖原

名代
長田善兵衛
田 左馬

山菅法庵
有地大信之宛

永井彦彦
永井長

同 浪次郎

弟 康太郎

17
新田根経之宛

川宮左兵衛

同 左兵衛

同 左一郎

17
新田源三郎宛

加藤悳也

加藤之助

17
同 信七郎

同 信七郎

17
同 信七郎

同 信七郎

山内清之助

同 信七郎

17
長瀬彦彦宛

同 信七郎

同 信七郎

同 信七郎

17
早原善吉

同 信七郎

同 信七郎

同 信七郎

同 信七郎

沼江清忠

小菅信雄

水原信房

中津九郎

名代

河野左兵衛

同 山本所

赤尾清房

山崎宗信

名代

林右兵衛

同 宗運

右江作之房同人之屋へ到り信房等

御所へ向

隠居家等

小菅信雄

水原信房

松井宗信

名代

水原信房

信房

同 吉之助

水原信房

林 宗馬

名代

相次信房

同 宗信

長谷川利信

山崎宗信

名代

水原信房

同 多主所

河野左兵衛

本間十兵衛

名代

小林利信

同 十兵衛

永井信房

夫此...
香月七高
同昌之助

永井修也

河北仙太郎

井戸金之丞

山本清太郎

三浦長太郎

加茂平太郎

渡辺清太郎

川原権太郎

小林軍太郎

湯木根太郎

六角又高

鈴木清太郎

大久保甚之助

加茂八十右

川指権太郎

武蔵徳太郎

荒川吉十郎

松浦吉高

長田長十郎

水田吉高

功部新吉高

右大...
内八人...
列...

内...

石川...

深...

小...

内...

田...

内...

河...

日...

...

...

右記

一 津波に罹りて

一月波に罹りて津波に罹りて死者甚多

一 右記の津波に罹りて死者甚多

一 右記の津波に罹りて死者甚多

一 右記の津波に罹りて死者甚多

小田

松平

友

右記の津波に罹りて死者甚多

一 津波に罹りて死者甚多

一 津波に罹りて死者甚多

一 津波に罹りて死者甚多

大田

永井

松平

右記

川

右記の津波に罹りて死者甚多

上

松平

右記の津波に罹りて死者甚多

一 津波に罹りて死者甚多

一 津波に罹りて死者甚多

川

小田

松平

右記

川

松平

川

松平

川

松平

川

松平

右記の津波に罹りて死者甚多

河内書院中篇

宇治上三郎
心遊堂加茂
材次宗長
紀伊中細之殿

右河内書院中篇
城河内書院中

河内書院

紀伊殿及廣分殿河内書院中
河内書院中

河内書院殿及河内書院中
紀伊殿及河内書院中

紀伊殿及河内書院中

加納大福

右河内書院中
河内書院中

河内書院中
河内書院中

河内書院中

河内書院中
河内書院中

河内書院中
河内書院中

河内書院中
河内書院中

河内書院中

河内書院中

河内書院中
河内書院中

河内書院中

河内書院中
河内書院中

河内書院中
河内書院中

河内書院中

河内書院中

河内書院中

河内書院中
河内書院中

河内書院中
河内書院中

河内書院中

河内書院中

河内書院中

河内書院中

江戸全志

概略

江戸全志

小菅法郎

七代目

子孫

荒川万花

江戸全志

西尾家

子孫

辻水次郎

小菅法郎

水戸

上倉大蔵

江戸全志

振井嘉八郎

右記江戸全志

各記

一 月入

右之印 摩訶波利水以上

山

摩訶波利

水水河内

寺

水水河内

小十人

田中一原

水水河内

寺

橋井仙

右之印 摩訶波利水以上

摩訶波利水以上

摩訶波利

摩訶波利水以上

摩訶波利

摩訶波利

摩訶波利

摩訶波利水以上

摩訶波利水以上

摩訶波利

別紙芝上

四ノ巻上巻上

種非を標沙海酒の夜を以て本上
沖本凡 西九也等身美沖本凡中
口之宮西也心使を以て上カ
人

二月

尚書

二月廿日

河津徳也

松平右馬介

右

石之文信等が御金に在りて遺願者迄り金
希程に御席に任事し方被取らるる中
列天に御座候

明香五郎は法持の中野御方御座候

此

成り方右迄列り候

石之介 殿中御座候以上

上

二月廿日

尚書

二月廿日

井上河内守

今御府之御座候通法光法門中御座候
為御座候

成

之御座候に在りて迄列り候

人

右之御座候に在りて迄列り候

御座候に在りて迄列り候

此

尚書

二月

三橋右吉

尚書

上野茶上郎

石之文信等が御金に在りて

遺願者迄り金希程に御席に任事し方被取らるる中

列天に御座候

明香五郎は法持の中野御方御座候

成り方右迄列り候

九月内子と居候に色おむりや八才出候も候存候事以上

別紙

旧紙三張及び後ハシテ字子ニ在リ

心算老古記
子持老古記

九月廿日

未だ書

種非老古記清信内ノ口後候事ノ河沿

河沿ハ大倉内河沿中老古記ノ河沿

父子老古記衣以テノ後人老古記清信内返

小紋ニテ書テノ後老古記

種 清信内老古記老古記

一 右河沿河沿老古記

清信内 西九月廿日江テ

但老古記中河沿

清信内老古記老古記

一 左河沿河沿老古記使老古記老古記

清信内一ノ老古記

但老古記老古記老古記老古記老古記

以使老古記老古記老古記老古記老古記

以上老古記老古記老古記

右ニ在テノ老古記

九月

九月廿日

種非老古記清信内ノ日

出候河沿老古記清信内返老古記老古記

清信内河沿老古記清信内加老古記

一 清信内西九月廿日老古記

九月廿日

未だ老古記老古記老古記老古記老古記

清信内返老古記老古記老古記老古記

右ニ在テノ老古記

九月

同日

五張老古記

旧紙三張

清信内老古記老古記

老古記

右ニ在 清信内老古記老古記老古記老古記

長須作書... 此後... 此後... 此後...

此後... 此後... 此後...

此後... 此後... 此後...

二月六日 松平玄由次

日克... 日克...

右... 右... 右... 右...

此後... 此後...

二月七日 松平玄由次

右... 右... 右... 右...

此後... 此後... 此後...

右... 右... 右... 右... 右...

此後... 此後... 此後...

一 松平氏馬代領事官より為替札を列せり

一 日見

一 九代目家之御代領事官より為替札を列せり

一 松平氏為替札

一 本七十七大領列せり

一 津島

一 津島より為替札列せり

一 津島より為替札列せり

一 津島より為替札列せり

一 津島より為替札列せり

一 大領者より為替札列せり

一 四方より列せり

一 列せり

一 列せり

一 列せり

一 日見

一 大領者

一 四月八日

一 松平氏為替札

一 日見

一 右邊、松平氏山内

一 松平氏山内、同領事官より為替札

一 津島

一 日見

一 津島

一 六角伊勢守

一 同領事官

一 津島

一 松平氏為替札

一 同領事官

一 津島

一 酒井氏為替札

一 松平氏為替札

一 右邊

一 津島

一 津島

一 六角伊勢守松平氏為替札

子坂久常子宛

子坂在門

法白居士宛

大河内春臣宛

法本丈古宛

若木根北屋子宛

加茂清之助

古方美之助

水野清三宛

水 上京新三郎

水 玉田雅三郎

水 石河虎彦

水 水野大指子宛

水 久世忠次郎

水 能登子重子宛

水 子官三郎

水 永井重次郎

水 田村助次郎

右沙書院若海井村子重人敬就此是只人
人江作自くが存案之より海航列北日書只
了後くが年分元行宛

敬請之旨

西九尾彦吉宛

西九尾彦吉宛

昭田洋吉宛

百々子八

同洋次郎

如又之所
西九尾彦吉宛

右江作自くが存案之より海航列北日書只
了後くが年分元行宛

返

西九尾彦吉宛

昭田洋吉宛

百々子八

以十枚

右年考に在るは、わが歴代と下し、和漢火の同
若し年考元列永正、其後、下、其の
有十日、月、深し、海、旅、の、由、大、同、元、正、の、年、不、わ、り、の、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、以上

水、其、者、者、也

二月十日

水、其、者、者、也、其、由、湖、間、也、其、由、湖、間、也、

山、事、

二月十日

水、其、者、者、也

林、口、由、湖、間、也、海、旅、の、由、大、同、元、正、の、年、不、わ、り、の、

右、其、也、

海、旅、の、由、大、同、元、正、の、年、不、わ、り、の、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

二月十日

福、永、丹、澤、

今、日、其、由、也、

大、納、之、歴、代、其、由、也、

入、其、由、也、

還、其、由、也、

六、角、保、護、也、

酒、井、經、氏、

松、平、日、向、也、

右、通、之、日、其、由、也、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

今、日、其、由、也、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

乃、其、年、之、の、歴、代、知、し、の、由、也、

内船入りと云々入之云々次々火口下等方止下

凡そ河内之船次知止云々以上

山美者書

朱丁日

種原云云、任川幸治公殿より九上、結納
有、河内、山美、以上

二月

河内、結納、以上

河内、結納、以上

河内、結納、以上

此の末

河内、結納、以上

古井大秋、以上

此の内

山美

山美

井上河内、以上

林元但馬、以上

也、及、青馬、以上

取、此、昔、以上

取、此、遠、以上

回、派、以上

松、平、以上

此の内

山美、以上

松、平、和、以上

松、平、和、以上

松、平、和、以上

松、平、和、以上

水、中、以上

水、中、以上

二月十一日

山美

也、及、青馬、以上

今、期、坊、以上

清、見、以上

清、名、代、打、平、因、以上

清、見、以上

山美

大徳院 巨勢六江島

中坊舎能江

西凡

西凡 口書り書り

本立東去江能江

少林書史

右放

清名日 任官

神方金書

猪俣彦吉

右院元義於台内放

清久年易... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

小書法

彦吉... 彦吉...

四天守書

右院新書

右院... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉

四宝苑書

彦吉... 彦吉...

彦吉

彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉...

右院元義於台内放

清久年易... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

卷上

小書者書元

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

彦吉... 彦吉... 彦吉... 彦吉...

以上

四月十日

山川下流等
本及口等

四月十日

秋之世等

後府等

小田切等

右今般先の志津五重院湯に在りて

二行

一 明後下等し由水月言々毎之屋次を渡りて

湯に高き橋中湯者初之在行中

一 少法師自ら引出候

右之不 摩等者候以上

此

林業局使次候

以下

白坂量等

右之由候し方の候火より其心等元列に在り候

一 湯

一 右等居候し候者其心より一列一名に候

右等し由序下湯之湯一紙目候し之屋次に在り候

一 湯

一 見方より書きたる連列に在り候

一 凡そ何れ之屋次候し候以上

四月十日

南等
夜形遠江

松平右衛門

右邊之日光に候在り候其心より一月一

一 湯

一 明十日湯候し湯に在り候

一 湯

一 湯中候し湯に在り候

一 湯に在り候

一 湯

一 湯に在り候

一 湯に在り候

一 湯

一 湯に在り候

西尾信入中より名を尋、
少所不之座次相違ふ事の上

四月十日

高善
切回相違事

今日

控帳名秋は徳川常陸公版以水野勘守
沙流網之控帳名秋上大廣間一師一
之之間に座次相違事此間取之控帳
一 沙流網之控帳名秋首尾好御座下
二字近くおとす

浄書院

徳川常陸公版

右浄書院原書如左

浄書院進沙刀

浄書院

先任浄書院版

右於西湖之間

浄書院浄書院

水戸宰相版

尾張中納版

右沙流網之控帳名秋

浄書院

水野勘守

右於浄書院浄書院浄書院
浄書院中列名之座次相違事此間取之控帳
浄書院
浄書院

松平肥後守

并任三右衛門

松平下総守

松平隠岐守

右於浄書院

浄書院浄書院一回同席出

清目久

入清古 清通子酒

清通代元

山崎酒不第同進

清通代元

清通

同嫡子

同嫡者若

同嫡子

上尾之御孫

同嫡子

布衣以上及人

右並指於序

清目久

公方様

大細様

三様二荷

沖使

松平因訪書

公方様

種姫君様

同

多野出村

右法緒因高所前乃也松平之

紀伊殿常陸公殿之於法白書院西之

法白書院西之

水戸殿中乃殿之於法白書院西之

法白書院西之

清通代元其不出傳角之

法白書院西之

功叙之

功叙之

多野出村

右法緒因高所前乃也松平之

紀伊殿常陸公殿之於法白書院西之

法白書院西之

水戸殿中乃殿之於法白書院西之

法白書院西之

清通代元其不出傳角之

法白書院西之

山口人少道

一月夜にこれ始りて尾海邊に在る屋敷

山口人少道

此の屋敷に在る屋敷に在る屋敷

此の屋敷に在る屋敷に在る屋敷

此の屋敷に在る

此の屋敷に在る屋敷に在る屋敷

此の屋敷に在る

此の

此の屋敷に在る屋敷に在る屋敷

此の屋敷に在る

此の屋敷に在る屋敷に在る屋敷

此の屋敷に在る屋敷に在る屋敷

此の屋敷に在る屋敷に在る屋敷

此の屋敷に在る屋敷に在る屋敷

此の屋敷に在る屋敷に在る屋敷

此の屋敷に在る屋敷に在る屋敷

此の屋敷に在る屋敷に在る屋敷

凡そ何れも之類は御座らざる事

此より退下

四月二十七日

四月十日

南署
町能徳也
松年加賀也

右

種取名柳沙海河内は後長久寺に移すは中
津也

松年北後寺
井保玄善次
松年下徳寺
松年隠後寺

右田のり乃は後長久寺に移すは中津也

右此のり無名なり中津也

右此のり乃は後長久寺に移すは中津也

右此のり乃は後長久寺に移すは中津也

右此のり乃は後長久寺に移すは中津也

昆布一袋
日光寺門前
湯桶一袋
随宜聖院宮
口比布一袋

右此のり乃は後長久寺に移すは中津也

右此のり乃は後長久寺に移すは中津也

右此のり乃は後長久寺に移すは中津也

右此のり乃は後長久寺に移すは中津也

昆布一袋
坊寺寺方丈

右此のり乃は後長久寺に移すは中津也

右此のり乃は後長久寺に移すは中津也

惣理流控所
折下米女

右此のり乃は後長久寺に移すは中津也

右此のり乃は後長久寺に移すは中津也

四月十七日

寺宮のり乃は後長久寺に移すは中津也

公言 大御前御一御は

汗流りより程列が下

衣より 殿中御少御人上

中

公言下 帝座より程列が下

程列が下 御座より程列が上

口程列が下 程列が上

今程列が上 殿より程列が下

公言 程列が上

程列が下 口程列が上

御座より程列が上 程列が下

公言 程列が上

中

後 祥院殿 程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

口程列が下

口程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

口程列が下 程列が上

口程列が上

公言 程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

口程列が下 程列が上

公言 程列が上

一 少の御葉出苑

一 清名湯之御流石所也 堀之内に日雲の石あり

一 半河有る石あり何れか

一 見たりし書有て遠外にあり

一 九折河の之御流石也

一 御流石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石の御流

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

一 石口より流れる水

修月之始... 今... 終...

山本...

林...

...

水...

右...

...

上...

松...

...

松...

...

細...

...

松...

右...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

右於

清茶
清茶書院

綿古十把
新古十把
新古十把
新古十把

松平隆興寺

松平越前守

細川越中守

松平在後守

松平大和守

戸沢主計氏

京極徳也

津邊越中

板倉内膳心

赤木大因礼

丸尾長門

比田信俊

京極早津又守

片桐石見守

保東政之助

上杉後河守

毛利源次

一柳玄修守

土屋隆友助

妹婿
婿

松平和泉守

松平康女正

婿
婿

岩城康女

松平隆昌守

中村日白
中村日白
中村日白

日二巻

押急十具
無段派障二指

流好一
流好二
流好三

松平越前守

柏 大子

酒井 波門

流好二
流好三

松平相模守

荒尾 兼助

一 松平越前守 伊礼 色部 孫五郎 松平 隆
流好 中 下 下

早廣 勘吉

松平 下野守

右 伊礼 孫五郎 孫五郎 孫五郎 孫五郎 孫五郎
日 久 伊礼 孫五郎 孫五郎 孫五郎 孫五郎 孫五郎
中 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下

一 日 久 上 野

大 敵 流 孫

流 雲 前 孫

一 伊礼 孫五郎 孫五郎 孫五郎 孫五郎 孫五郎
P 下

一 日 久 上 野

伊 具 前 孫

流 雲 前 孫

一 還 伊 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎

一 伊 具 前 孫 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎

一 伊 具 前 孫

一 今 日 伊 禮 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎
孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎 孫 五 郎

一 伊 具 前 孫

大 敵 流 孫

流 雲 前 孫

日 久 上 野

伊 具 前 孫

松 平 初 水 守

松 平 房 吉

一 伊 具 前 孫

大 敵 流 孫

流 雲 前 孫

右此書作...

右之亦 願作...

御成下居...

因信友...

今日...

同日

沖城...

右之亦...

用...

逃

汗月...

...

...

12月...

...

...

...

...

...

...

...

信西宅

日行

信西宅

日行

日行

信西宅

信西宅

信西宅

信西宅

信西宅

信西宅

信西宅

信西宅

信西宅

毛利初重

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

毛利早世

大平江府長

自來水

酒造

打年

二八

作是

出村

湯

糸上

早

打年

徳三

一 以上

母

右

津

右

物

中

个

別

大

心

心

毛

本

成

不

又

石

津

平家元列在至丹後守下海

之りか 西九方は西よりしるは行黄其れ

清平凡少保何し上州通口谷の辰と又何れしと

見方しし言ふるを列し上海

口下所之し殿は控止か一也

口下所之し言ふるを列し上海

四月廿四日

牧野善三書

今朝上野

春若院様 沖島前

沖島代加納遠江守書

沖島前

日支大目

松平右兵衛

右 沖島代

心未定

心未定

後於道酒所

並し此の足りしと

右は 作事しるは松平右衛門殿宛宛充中

列在之殿以下は東井御書と自記あり

右は 殿中御書と水書馬子と有通書

今日物と玉書P以上

也

乙和子四月

傳信院様二十面は忘るは書 想ありは伝信院様

高二月

有傳信院様二十面は忘るは書 想ありは伝信院様

伝信院様二十面は忘るは書 想ありは伝信院様

九月何し伝信院様二十面は忘るは書

四月廿四日

松平右衛門

沖島前

地 伝院

右 伝信院

作事しるは松平右衛門殿宛宛充中

列在之殿以下は

右は 殿中御書と水書馬子と有通書

今日物と在希しん上

此

本月二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此
以水信をたすなり

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

今朝上野

至分鏡標 汗霊初

汗霊初并るるをいふ

汗霊初

汗霊初

汗霊初

汗霊初

汗霊初

汗霊初

汗霊初

石旅

汗霊初

汗霊初

汗霊初

汗霊初

汗霊初

右尾列法別曹列川いふ事多し口用い

汗霊初いふ事多し口用い

汗霊初

右いふ 殿中少い 少きい上

此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

九月廿二日坊午し口後上りい方の殿氏少り此

川宮直三郎

七右衛門

川宮直三郎

川宮直三郎

川宮直三郎

川宮直三郎

川宮直三郎

川宮直三郎

石中書院書大久保隆也書院人致純之書久人
以作身之方也書院之方也隆也書院人致純之書久人
以後之身也隆也書院人致純之書久人

以本八月月波の礼三礼礼礼礼礼礼礼礼礼礼礼
以人五波の礼三礼礼礼礼礼礼礼礼礼礼礼
上如書例月波の礼三礼礼礼礼礼礼礼礼礼礼礼

西尾三之丞公在番所
右之介 殿中書房少輔以上

此
以

西尾三之丞公在番所
凡在番所之役以是以上

二月廿八日

阿波守

仲居間

尾列師使殿

赤松直吉殿

合十枚

大久保能登守

能登守殿

右邊出江守虎清

許通子

許通子

一月波一少後相徳

清白書院

清白書院
全一冊

清白書院
全一冊

清白書院
全一冊

清白書院
全一冊

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

清白書院

列長の義

大正御紀... 上使金福長吉

井俣祐次

右此書層々...

右之介 殿中御後方水の上

占

今日口礼言... 名代

別紙の上

小差入者書

大同...

四月...

四月廿六

法礼言...

渡邊丹後守

名代 石原祐次

日記... 日記...

日記... 日記...

四月廿九日

海若

井上河内守

尚六月

有徳院... 於焚火...

小寺院書

森川下徳守

右此中... 口八...

小寺院書

小寺東上徳女

右此中... 口八...

小寺院書

本願寺

二持三書

右

控... 右此中...

以同人之名

以海日增寺

有力学院様 汗霊前

汗霊前 汗霊前

汗霊前

汗霊前

汗霊前

汗霊前

汗霊前

汗霊前

汗霊前

汗

汗霊前

汗霊前

汗霊前

汗霊前

汗霊前

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

汗

菅原元正

西元入平其後

有亦 殿中

進

一 西元入平其後

一 進

一 菅原元正

一 西元入平其後

一 菅原元正

六月河内

久世大和守

酒井在兼守

物野甚重守

依野甚重守

也野在酒守

松平任重守

幸重任重守

松平旧文

野一色形母

六月朔日

山崎

大岡倉

大岡倉御返函指稿上房

入道御一新之 是所引山崎信管其入

山崎御向

山崎

山崎

松平上尾与

日

松平上尾与

一 公方那 大岡倉御世日

山崎御向 山崎御向

山崎御向

山崎

山崎御向

日

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

山崎御向

一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ

一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ

一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ

一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ

一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ

一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ

六月二日

一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ

一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ

経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ
一 経手帳簿の取替を原簿に代換せしむ

福徳又昇
峯 又左馬
作之右馬八

日守本方政政之
名 隆之右

弓矢物之
聖及古右之

花形作左
藤元側御
藤原三年所

在尾列後列野列川ノ邊
作有ノ月也
在尾列ノ邊
在尾列ノ邊
在尾列ノ邊

公三平
在尾列ノ邊
在尾列ノ邊
在尾列ノ邊
在尾列ノ邊

一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊

一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊

一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊

一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊

一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊

一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊
一 在尾列ノ邊

別紙本
乙世右部
丙世右部
丁世右部

六月廿九

少乳具置表に

出所河津浦より一内河島出所
安高より一内河島出所
本庄より一内河島出所
有しとて一人船に坐せり
右一色澤原より一内河島出所
上河島出所
左河島出所
下河島出所

六月

河原能事古記

河原能事古記

河原能事古記

六月廿九

河原能事古記

河原能事古記

六月廿九

河原能事古記

河原能事古記

河原能事古記

六月廿九

河原能事古記

河原能事古記

六月廿九

河原能事古記

河原能事古記

六月廿九

河原能事古記

河原能事古記

河原能事古記

河原能事古記

河原能事古記

河原能事古記

河原能事古記

河原能事古記

月人記

五藤孝子
山出 尚三郎

山出 洋三

山井 隆吉

山行 秀吉

長谷川 利子

長田 隆吉

長田 修一

水井 隆吉

内 友利

日向 隆吉

西 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

元 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

山井 隆吉

六月二日

一 奉旨与方和吉就通分后前人之

六月七日

西条 安反野助与

出直子

戸田之助

在由我前着官事十尾同中知事到院
在由我

一折 上依与

奉命

松田内膳

多敷外礼

在由我前着官事十尾同中知事到院
在由我
侍所

安部 平吉

在由我前着官事十尾同中知事到院

所先一有... 侍所

田 田

在由我前着官事十尾同中知事到院
在由我前着官事十尾同中知事到院
同人之助

田 田

中野 房平助

伊东 我吉助

松本 房平

林 合右衛门

田 田

山田 仁吉助

小室 宗高

浦北 新吉

全三叔
时坂二气

全三叔
时坂二

日水 重乃 治及

川口之元

小倉宗三之所
新永江之書
福徳又江所
依之同 其八

与祝物定

今更其元

如及古之所
新野付定
結凡 仍助
藤原之平所

右尾列港列 櫻川川之 是後在川
長江月 長江月 有其在平 亦分 亦分
出科 及 亦分 亦分 亦分 亦分
川之 亦分 亦分 亦分 亦分

一 川八日上野

處有尾柳 川之亦分

川之亦分 亦分 亦分 亦分 亦分
亦分 亦分 亦分 亦分 亦分

一 川八日上野

川之亦分 亦分

川之亦分 亦分

川之亦分 亦分

川之亦分 亦分 亦分 亦分 亦分

川之亦分 亦分 亦分 亦分 亦分

六月七

世名

一 川八日上野 川之亦分 亦分

川之亦分 亦分 亦分 亦分 亦分

一 川八日上野 川之亦分 亦分

西書

六月八日

田原之書

川之亦分 亦分

川之亦分 亦分 亦分 亦分 亦分

川之亦分 亦分 亦分 亦分 亦分

川之亦分 亦分 亦分 亦分 亦分

川之亦分 亦分

川之亦分 亦分 亦分 亦分 亦分

一 所司直度内出和原位延任候事候
尾張中お殿より御書付と尾張御使者候
御返書御返書と云々御書付云々

一 御書付より延任候事候事候
御返書御返書と云々御書付云々

一 所司直度内出和原位延任候事候
尾張中お殿より御書付と尾張御使者候
御返書御返書と云々御書付云々

一 御書付より延任候事候事候
御返書御返書と云々御書付云々

六月八日
所司直度内出和原位延任候事候
尾張中お殿より御書付と尾張御使者候
御返書御返書と云々御書付云々

一 御書付より延任候事候事候
御返書御返書と云々御書付云々

六月九日

所司直度内出和原位延任候事候
尾張中お殿より御書付と尾張御使者候
御返書御返書と云々御書付云々

御書付

御返書御返書と云々御書付云々

御書付より延任候事候事候
御返書御返書と云々御書付云々

御書付より延任候事候事候
御返書御返書と云々御書付云々

御書付より延任候事候事候
御返書御返書と云々御書付云々

拙者他日海へ行く人下等所は
存し不 愚平松天守城の
所由一介の形も遠く
代合へん限行候下し
六月九日

此言

一 月十日以後海へ行く人下等所は
存し不 愚平松天守城の

一 日記方上へ平身を列し
存し不 愚平松天守城の

一 拙者中へん限行候下し
存し不 愚平松天守城の

一 平身の上利と道向ふ人下等所は
存し不 愚平松天守城の

此言

同日

河津津見守舟之形

愚平松天守城の

七月九日 愚平松天守城の

昔者我初に在城海防局より
着し不 愚平松天守城の
此項(御守舟)内及外
御守舟(御守舟)内及外
御守舟(御守舟)内及外

六月九日

此言

一 愚平松天守城の

河津津見守舟

一 愚平松天守城の
御守舟(御守舟)内及外
御守舟(御守舟)内及外

一 愚平松天守城の

河津津見守舟

愚平松天守城の
御守舟(御守舟)内及外
御守舟(御守舟)内及外

御守舟(御守舟)内及外
御守舟(御守舟)内及外

此内

一、谷、色
二、新、報、之、元、公、年、以、之、研、合、者、也
力、代、之、展、之、又、行、成、上、一、者、

御、日、本、神、主、君
所、以、御、平、主、君

上、(介)
以、外、主、君、河、内、以、公、也、

上、升、主、君、河、内、主、君
井、上、河、内、主、君

上、(介)
以、外、主、君、与、主、君、也、

松、之、組、馬、主、君
安、及、對、馬、主、君

上、(介)
在、廣、島、主、君、上、松、之、組、主、君、也、
以、外、有、一、新、之、初、次、頭、(主、君、也、)河、内、及、
以、外、主、君、河、内、主、君、也、

松、野、主、君、河、内、主、君
松、野、主、君、河、内、主、君

田、内、主、君、河、内、主、君
松、平、主、君、河、内、主、君
松、平、主、君、河、内、主、君
松、野、主、君、河、内、主、君
松、平、主、君、河、内、主、君
水、野、主、君、河、内、主、君
上、(介) 大、澤、主、君、河、内、主、君

六月十日

河、内、主、君、河、内、主、君

今、朝、主、君、河、内、主、君

常、之、惠、院、主、君、河、内、主、君

所、以、河、内、主、君、河、内、主、君

一、二、條、主、君、河、内、主、君、河、内、主、君
有、一、河、内、主、君、河、内、主、君

松、野、主、君、河、内、主、君

福、原、主、君、河、内、主、君

松、野、主、君、河、内、主、君

大田原村

在沙原川邊臨海の古くより一帯

一 概一帯の地味は海軍省の所屬

行政區に属す

とす 一 陸軍省の所屬に属す

六月十日

此

一 海軍省の所屬に属す

一 陸軍省の所屬に属す

一 陸軍省の所屬に属す

六月十日

田原

新着

仙居

大田原

市川

中津

井出

小田

大田

中津

大田

中津

大田

中津

大田

中津

大田

中津

大田

中津

在沙原川邊

一 概一帯の地味は海軍省の所屬

行政區に属す

とす 一 陸軍省の所屬に属す

水野 宗之丞

水野 宗之丞

純正宗之丞殿

右記御返書に同封入し候へば其旨に
付候所願也

一 松平式部左衛門尉宗之丞殿

年者右記御返書に同封入し候へば其旨に
付候所願也

右記御返書に同封入し候へば其旨に
付候所願也

右記御返書に同封入し候へば其旨に
付候所願也

六月十日

（送書）

純正宗之丞殿

此旨御返書に
同封入し候へば

井伊之丞殿

右記御返書に
同封入し候へば

（送書）

水野宗之丞殿

水野宗之丞殿

川崎宗之丞殿

水野宗之丞殿

水野宗之丞殿

（送書）

水野宗之丞殿

右記御返書に同封入し候へば其旨に
付候所願也

一 目元方上ノ十有六分を列上書候へ

一 右記御返書に同封入し候へば其旨に
付候所願也

六月十日

水野宗之丞殿

右記御返書に同封入し候へば其旨に
付候所願也

右記御返書に同封入し候へば其旨に
付候所願也

水野宗之丞殿

水野宗之丞殿

水野宗之丞殿

水野宗之丞殿

水野宗之丞殿

水野宗之丞殿

水野宗之丞殿

水野宗之丞殿

水野宗之丞殿

德報云日皇統
年回要人

在西北半人地物均是人教不其有
以八人矣 惟有一有於地而一有年
其地多列其古物也一也 一有年矣
其地多列其古物也一也 一有年矣

六月十一日

長官

一 備述其古物也一也 一有年矣

其地多列其古物也一也 一有年矣

一 備述其古物也一也 一有年矣

內書

六月十一日

備述其古物也一也 一有年矣

有馬中書古物也一也 一有年矣
其地多列其古物也一也 一有年矣
其地多列其古物也一也 一有年矣

上使回也

松平河内守

在物年所也

其地多列其古物也一也 一有年矣

六月十一日

長官

一 備述其古物也一也 一有年矣
其地多列其古物也一也 一有年矣

內書

六月十一日

松平吉重

其地多列其古物也一也 一有年矣

其地多列其古物也一也 一有年矣

口勸定也

松平吉重

其地多列其古物也一也 一有年矣
其地多列其古物也一也 一有年矣
其地多列其古物也一也 一有年矣

程限在秋上為陸以爲不
所備因之竟才中則之
左陸以爲也云云
上意係備也云云
水野切也云云
云々

江沼村屋

首領

使信

日

使信

兵所

上夜

自

日

半

所自

リ

二

三

所

三

所

一

紀伊殿之使信者
使信者之使信者
下下下下下下

毛利早船之使信者
所自早船之使信者
下下下下下下

指使早船之使信者
指使早船之使信者
下下下下下下

一
一
一

一
一
一

一
一
一

一
一
一
一
一

六月十二日

和之但馬守

出後毫

臨之河内守

在而秋古信來前大 作有身形之通
以所中常以兵下中服有初其意者
少也中列其古和子一國其居也其
而云一區之屬 其古之別股
河内見之矣 作有身形之通
一 松平因藏以兵下中服有初其意者
在而秋古信來前大 作有身形之通
切程一區之屬 其古之別股

一 河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

一 河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

六月十二日

和之

一 河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

一 河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

和之

六月十七日

和之但馬守

河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

一 河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

一 河内守古信來前大 作有身形之通

河内守古信來前大 作有身形之通

一 在方子内数日 西北子内数日
光 故是物多取回人 物多取回人
物多取回人

一 近日老正以 近日老正以
上之方子 上之方子

一 在方子内数日 在方子内数日
物多取回人 物多取回人

一 近日老正以 近日老正以
上之方子 上之方子

一 在方子内数日 在方子内数日
物多取回人 物多取回人

一 近日老正以 近日老正以
上之方子 上之方子

一 在方子内数日 在方子内数日
物多取回人 物多取回人

一 近日老正以 近日老正以
上之方子 上之方子

一 在方子内数日 在方子内数日
物多取回人 物多取回人

六月十八日 物多取回人

今日 物多取回人
六月十八日

一 在方子内数日 在方子内数日
物多取回人 物多取回人

一 近日老正以 近日老正以
上之方子 上之方子

一 在方子内数日 在方子内数日
物多取回人 物多取回人

一 近日老正以 近日老正以
上之方子 上之方子

一 在方子内数日 在方子内数日
物多取回人 物多取回人

六月十九日 物多取回人

今日 物多取回人

貴書一紙既接未及三日、猶未覺
之者、豈不為其遲鈍、抑亦其物之
中、豈不為其遲鈍、抑亦其物之
也、予所以為之、物固如此、豈
掩之、以之、者、未始、一、二、

六月十九日

（長）

一 九年前之方、如、物、此、其、也、

（南）

六月廿日

所、於、仙、中、也

今、朝、上、野

大、藏、院、御

有、延、院、御

所、其、也

所、在、代、國、水、邊、以、來、也

在、外

應、中、也、不、也、

六月廿一日

（長）

一 九年前之方、如、物、此、其、也、

（南）

六月廿五日

因、返、也

松、平、公、也

在、外

山、門、也

不、也

海、田、也

同、也

在、外、也

在、外、也

在、外、也

在、外、也

（南）

六月廿六日

上、野、也

在、外、也

在、外、也

同前月人下物

尾股右前之殿傳

宿海三宅

海邊三宅

紀伊守平則之殿傳

御後三宅

此宿林三宅

右如跡跡向月人下宿守平之殿傳

松平内藏之殿傳

宿海三宅

三宅守平

上夜守平之殿傳

日

是於出膳

松平或坊之殿傳

日

玉司之殿傳

右於宿守平月人下宿守平之殿傳

一 松平出雲守平之殿傳

一 宿海三宅海流一氣守平之殿傳

一月廿二日

所從生目一宿海三宅守平之殿傳

一 宿海三宅守平之殿傳

一 宿海三宅守平之殿傳

六月廿一日

張

一 目紀方守平之殿傳

一 宿海三宅守平之殿傳

六月廿二日

宿

井上河内守

守日

所從生目一宿海三宅守平之殿傳

宿海三宅守平

大之原守平

右尾列守

所從生目一宿海三宅守平之殿傳

一 宿海三宅守平之殿傳

六月廿二日

（長）

- 一 寺々 内庭中日有藤木不茂者年八
- 一 九葉樹之九木与物道方長也八〇二

（長）

六月廿三日

瑞日抄抄与

大内家御与

大内家御与 爲藤木之爲 入内庭

并修掃地

并修土葺

松平御所与

右内庭御所抄抄

瑞日抄抄 瑞日抄抄

右内庭御所抄抄 瑞日抄抄

六月廿四日

（長）

- 一 寺々 内庭中日有藤木不茂者年八
- 一 九葉樹之九木与物道方長也八〇二

（長）

六月廿五日

松平云書久

大内家御所抄抄 内庭抄抄

大内家御所抄抄 内庭抄抄

一 寺々 内庭中日有藤木不茂者年八

大内家御所抄抄 内庭抄抄

大内家御所抄抄 内庭抄抄

上德我因女飛与

日之門抄抄

大内家御所抄抄 内庭抄抄

大内家御所抄抄 内庭抄抄

大内家御所抄抄

大内家御所抄抄 内庭抄抄

六月亦旨

（医云）

一 九月廿五日 大寺与物 匠云 匠云 匠云

六月廿五日

郷従

丸舞 大寺物云

由青

六升 大物云

五回 御后与云

三回 御后与云

三回 御后与云

一柳 大物云

五原

西原 大物云

三原 大物云

三原 大物云

初書 大物云

新書 大物云

川原 大物云

大之原 大物云

内田 大物云

西元 大物云

日 大物云

一 大物云

右 大物云

中 大物云

左 大物云

小 大物云

一 大物云

一 大物云

一 大物云

右 大物云

三浦右衛門尉
右へ

六月廿二日 南書 松元信房

平朝正
主父尾藤 所書

所長水野 出相与 本伯

目老 少

在所 少 所書

所書 同 所書

一 本朝与 本朝 所書 同 所書 同 所書

一 本朝与 本朝 所書 同 所書

一 本朝与 本朝 所書 同 所書

六月廿二日

所書

一 本朝与 本朝 所書 同 所書

一 本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

六月廿二日

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

本朝与 本朝 所書 同 所書

六月廿七日

北野直信

松平出立書

野村平内

在松平(同)右利友(中)向(中)平(右)家(海) 活(成)其(願)報(一)

一 南(於)右(松)平(支)下(平)服(抄)其(志)力(元)臨(始)

一 前(三)年(三)所(之)應(上)存(之)一(同)人(抄)之(在)島

一 知(員)所(抄)之(傳)月(報)一(傳)因(入)上(古)家(原)

三(乃)可(ハ)

一 同(人)之(家)海(命)之(松)藤(外)之(事)連(之)平(守)

一 之(文)抄(之)々(々)

右(ノ)外 無(事)成(成)而(未)公(之)一

六月廿八日

北野

一 目(元)方(上)下(平)身(右)利(友)列(上)抄(海)人

一 左(家)所(之)右(利)友(抄)之(傳)海(命)之(事)

一 之(世)上(抄)之(傳)海(命)之(事)之(傳)抄(之)内

只(奉)有(事)抄(之)内
年(林)抄(之)内

六月廿九日

一 昔(六)月(廿)九(日)抄(之)事(抄)抄(之)事(抄)抄(之)事(抄)

或(日)之(人)公(内)公(内)公(内)之(任)任(任)勿(勿)抄(抄)抄(抄)

抄(抄)抄(抄)抄(抄)抄(抄)抄(抄)抄(抄)抄(抄)抄(抄)

公(利)抄(之)

一 抄(之)事(抄)抄(之)事(抄)抄(之)事(抄)抄(之)事(抄)

一 及(抄)抄(之)抄(之)

六月

抄(之)上

六月廿九日

抄(之)抄(之)抄(之)

六月

八日

抄(之)日

九日

抄(之)日

十日

抄(之)日

六月廿八日

抄(之)抄(之)

月(抄)抄(之)抄(之)抄(之)抄(之)抄(之)抄(之)抄(之)抄(之)

在元 作有之在元隆平之在元并元隆平

一 毛利軍出陣之在元隆平之在元 作有隆平
是日之在元隆平之在元隆平之在元隆平

一 作有隆平之在元隆平之在元隆平

列載之

之世之在元隆平之在元隆平

美奈有隆平
守林有隆平

大月有隆平

當六月有隆平 作有隆平

作有隆平

一 國將出陣之在元隆平之在元隆平
在元隆平之在元隆平之在元隆平
在元隆平之在元隆平之在元隆平
在元隆平之在元隆平之在元隆平

六月

在元隆平

大月有隆平

在元隆平

一 德奉列傳之在元隆平
一 國將出陣之在元隆平之在元隆平
一 國將出陣之在元隆平之在元隆平
一 國將出陣之在元隆平之在元隆平
一 國將出陣之在元隆平之在元隆平

在元隆平

大月有隆平

列傳之在元隆平

一 作有隆平

一 中右有隆平

一 房之在元隆平之在元隆平

一 美奈有隆平

一 德奉之在元隆平

右表冠 諸君方有等 一 五月十二日
諸君方有等 一

一 右行諸君 一 五月十二日

一

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日 諸君方有等 一

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日 諸君方有等 一

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

五月十二日

後世に於いては、
一、
二、

六月

一、

七月

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

八月

一、

九月

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

十月

一、

一、

一、

六月所用者

松平周防守
吉田伯房守
井上河内守
之井七郎守
出岡半左衛門
本井誠守
三村信俊守
井上忠重守
安及洲吉也

二月朔日

所拜之向

礼乞但物

尾列所拜

平尾表氏

右 所拜

一 宗少子例月形 色沙禮書御只儀成元

礼礼乞帝禮 向太前下物取所 二月

沙礼年台表氏 入所云

一月以沙礼表氏

所白事院

奉御

松平年世寺

吉田女殿御礼

松平年世寺

表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

瑞瑞表氏

全別院抄卷之九
延く有別院及
不引之書於全別院
抄卷之九

藤原公長
三行二行

至所抄者
松平惟信傳
山平

以國分公長

非島六

藤井公長
二人

日外

收
藤井

沙路公長

伊能

全二
時後二
相成

是書
天野山
藤井

沙次百

津川

沙上三員

中野山
藤井

沙刺戸持

記

是書所

時後二

三行
藤井

是書所
藤井
藤井

一 紀伊殿宛書状
藤原公長
藤原公長

一 藤原公長
藤原公長

一 藤原公長
藤原公長

一 藤原公長
藤原公長

一 藤原公長
藤原公長

一 藤原公長
藤原公長

一 藤原公長
藤原公長

六月

記

一 藤原公長
藤原公長

以瀬川系之海へ本年身より之を在るに

少減事の上

善き書

右月分

二月分

二月分

招年既事

後瑞瑞事

之増升一能事

後九月長事

山内を以事

系法同位事

一 田村左系事

由秋内職以事

右行内職以事

瑞瑞日能事

三月分

一 山内氏内職以事

之利と事

之能事

之能事

之能事

一 右月分

之能事

之能事

之能事

一 右月分

之能事

之能事

之能事

之能事

之能事

一 右月分

之能事

之能事

之能事

六月二日 坊上守

所共知也 所共知也

作此等之書所 亦冠以姓名 乃

予一以列列之類 亦以姓名 亦

半年有未見者 亦以姓名 亦

亦以姓名

一 所共知 亦以姓名 亦

亦以姓名 亦以姓名 亦

亦以姓名 亦以姓名 亦

亦以姓名 亦以姓名 亦

亦以姓名 亦以姓名 亦

亦以姓名 亦以姓名 亦

亦以姓名 亦以姓名 亦

亦以姓名 亦以姓名 亦

亦以姓名 亦以姓名 亦

亦以姓名

一 亦以姓名 亦以姓名 亦

亦以姓名 亦以姓名 亦

亦以姓名 亦以姓名 亦

六月二日

六月二日

六月二日

亦以姓名

亦以姓名

亦以姓名

亦以姓名

亦以姓名

亦以姓名

亦以姓名 亦以姓名 亦

亦以姓名

亦以姓名

亦以姓名

亦以姓名

右表 作有し方書跡跡し方自人

跡跡同

跡跡家譜

西條教之家人

吉之山源右衛門

跡跡

跡跡

同表之家人

字子忠胤

一國 与右衛門

如文時
西條教之家人
作有し

右表 作有し方自人

跡跡

跡跡

跡跡

六月二日

跡跡

跡跡

吉之山源右衛門
跡跡

右表 作有し方自人

跡跡

跡跡

一 跡跡

跡跡

跡跡

跡跡

一 跡跡

跡跡

跡跡

六月二日

跡跡

跡跡

跡跡

跡跡

跡跡

跡跡

跡跡

上坂屋之馬屋
少村新太郎

日
田岡操
原宗、松一、少

小宗、信通
水井、修、勘、吉、亮
戸田、多、六、所

在新宿着信田徳中寺徳上寺普賢堂又
大 修了之在申中一白之御年列能因書
及之修由一若年身氣修能

上野徳内
三、世、院

在初科月一白之御及守年之御
大 一、御、年、終、身、不、棄、公、行、内、友
修、善、終、七、拍、之、事、知、一、一、一

六月二日

修善寺
在修善寺之御
在修善寺之御

修善寺之御小島 伊例元
馬場、北、口、之、馬、主、元
秋、合、之、御、半、七、修、善、寺
信、修、善、寺、也

一 九年身之同所之及修善寺之御也

修善寺之御
修善寺之御
修善寺之御

六月三日

修善寺之御

六月三日

大井、大、修、善、寺
田、原、之、修、善、寺

在三人行列在也
修善寺
修善寺
修善寺

剛

西尾尚書

杉平玄蕃次
秋元恒助

右の人沙列之儀也

六月二日

秋元恒助

此日... (faded text)

...

...

...

六月二日

尚書

田原山内守

日光寺

大野 三郎

右之... (faded text)

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

水野 信房

小室宗吉書

今世才女

於今令午所

水并屋敷

一子才女

三田隆行書

日根野才女

杉本才女

松尾才女

松尾才女

松尾才女

松尾才女

松尾才女

松尾才女

松尾才女

松尾才女

松尾才女

松尾才女

松尾才女

松尾才女

松尾才女

石川

山崎才女

山崎才女

日

山崎才女

石川

松尾才女

松尾才女

松尾才女

持才女

松尾才女

松尾才女

二月

詔

納才女

詔

松尾才女

松尾才女

右ノ年分元列元左田仙居ノ下御堂

山手
世帯ノ孫家也

外 森 辰 吉 所

乙 貴 又 吉 所

日

表ノ音

外 三 友 澤 吉 史

日

孫 龍 根 托 居 吉 史

川 村 吉 吉 所

日

水 野 大 膳 史

忌

林 吉 吉 所

右ノ年 作 有 一 宅 御 座 有 一 宅 列 元 御 堂

以 入 下 御 堂

一 松 村 吉 吉 所 与 石 屋 一 宅 上 宅 御 堂

城 下 一 宅

一 右 年 分 之 月 御 堂 御 座 有 一 宅 御 堂 御 堂 御 堂

六月廿

御 音

松 平 吉 吉 所

御 音

松 浦 平 吉 所

同 美 吉 吉 所

戸 田 吉 吉 所

佐 々 吉 吉 所

岡 本 吉 吉 所

三 浦 吉 吉 所

以 吉 吉 所

酒 田 吉 吉 所

吉 田 吉 吉 所

吉 本 吉 吉 所

吉 本 吉 吉 所

竹 村 吉 吉 所

田 邊 吉 吉 所

吉 本 吉 吉 所

吉 本 吉 吉 所

細目録

右邊朝服通

行燈下服、中、水、思、公、於、又、之、時、の

移、手、動、之、於、中、一、月、防、之、一、也、

長、年、之、元、侍、也、

尾、長、之、元、侍、也、

中、後、之、元、

中、後、之、元、

右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

世、間、人、傳、也、

於、中、之、元、

右

行、燈、下、服、中、水、思、公、於、又、之、時、の

移、手、動、之、於、中、一、月、防、之、一、也、

尾、長、之、元、侍、也、

中、後、之、元、

中、後、之、元、

右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、同、之、元、

一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、右、邊、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、一、同、之、元、

一、同、之、元、

一、同、之、元、

一、同、之、元、

六月廿日

未正二日坊寺 所奉信書

送所公復申列

右網之存 所奉書一公例月

所奉書一通 通之月身之信

玉信之取之信

但書之信

所奉書一其公之信

六月

六月六日

向書 大井古松氏

如所奉書之信 所奉書一其公之信

所奉書一通 通之月身之信

玉信之取之信

六月

六月

一 所奉書一其公之信

馬代五人 所奉書一其公之信

仙石之信 所奉書一其公之信

日向方也 所奉書一其公之信

一 所奉書一其公之信

一 所奉書一其公之信

一 所奉書一其公之信

一 所奉書一其公之信

一 所奉書一其公之信

六月

水師之信 所奉書一其公之信

六月

六月

六月

六月 所奉書一其公之信

六月 所奉書一其公之信

六月 所奉書一其公之信

六月 所奉書一其公之信

六月 所奉書一其公之信

世為の好礼

河原の書付の六集公の取上げ

六月

是上

右川舟

青川

有能虎那辛三回山迄沙路事舞
舟の伝事の中何れか様様松平船
船係止宿人より松平船事より
右河原代より沙路事より水事より
右河原代より松平船事より
就上云

一 右河原舟事より松平船事
右河原舟事より松平船事
右河原舟事より松平船事
右河原舟事より松平船事
右河原舟事より松平船事

六月

六月七日

河原舟

右河原舟

井上河原舟

右河原舟

右河原舟の好礼
河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

河原舟

長
在後山

在後山

所記年表... 在後山... 在後山... 在後山...

女... 巨坂

在後山... 在後山... 在後山... 在後山...

全... 時...

大... 水...

全... 時...

日... 小...

在後山... 在後山... 在後山... 在後山...

在後山... 在後山...

六月十七

在後山...

在後山... 在後山... 在後山...

在後山... 在後山...

六月十八

青... 大...

在後山... 在後山...

在後山... 在後山... 在後山...

在後山... 在後山... 在後山...

在後山... 在後山...

大...

画之... 小...

在物...

所...

...

一...

...

...

...

六月八日

...

一...

...

一...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

六月九日

...

...

...

...

一...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

本朝身古歴久事... 是也

形之致 後及至以所

全之致 氣固或也

有以... 海舟... 一

一 乃... 一

一 乃... 一

一 乃... 一

一 乃... 一

一 乃... 一

一 乃... 一

外感也

上并... 田...

明... 日...

懷... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃...

六月... 日

由...

六月... 日 乃...

乃... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃...

乃... 乃...

河内長門郡行成

河内郡人 王所長河内郡人

一 河内郡長門郡行成

中河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

一 河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

一 河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

一 河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

六月十七

河内郡

二 河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

一 河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

一 河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

一 河内郡長門郡行成

河内郡

六月十七

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

河内郡長門郡行成

一 右月以ノ身敷出江有ノ物并ノ口口年
之書ハ

一 右月以江左張ノ漢ノ陸ノ分ノ故ノ左ノ書
切證物ニシテ内防ノ書ニシテ

防ノ上ノ書ニシテ

一 右月以江左張ノ漢ノ陸ノ分ノ故ノ左ノ書
切證物ニシテ内防ノ書ニシテ
一 右月以江左張ノ漢ノ陸ノ分ノ故ノ左ノ書
切證物ニシテ内防ノ書ニシテ

右ノ書

一 右月以江左張ノ漢ノ陸ノ分ノ故ノ左ノ書
切證物ニシテ内防ノ書ニシテ
一 右月以江左張ノ漢ノ陸ノ分ノ故ノ左ノ書
切證物ニシテ内防ノ書ニシテ

一 右月以江左張ノ漢ノ陸ノ分ノ故ノ左ノ書
切證物ニシテ内防ノ書ニシテ
一 右月以江左張ノ漢ノ陸ノ分ノ故ノ左ノ書
切證物ニシテ内防ノ書ニシテ

三卷有書記

其ノ日書記ハ

一 右月以江左張ノ漢ノ陸ノ分ノ故ノ左ノ書
切證物ニシテ内防ノ書ニシテ
一 右月以江左張ノ漢ノ陸ノ分ノ故ノ左ノ書
切證物ニシテ内防ノ書ニシテ

世の子因縁同 西原の子は長介
後日神田高野寺にありて子孫因縁
大に事なき由も信實を以て列し及
之類人

一竹原信之と云ふ跡に在りて
一以列之云々初に在りて信實を以て列し及
之類人

六月十日 六月十日

六月十日 六月十日

西原
酒井因縁同

一 西原信之と云ふ跡に在りて
一 以列之云々初に在りて信實を以て列し及
之類人

一 西原信之と云ふ跡に在りて
一 以列之云々初に在りて信實を以て列し及
之類人

六月十日
西原
酒井因縁同
西原信之と云ふ跡に在りて
以列之云々初に在りて信實を以て列し及
之類人

吉田仙居子丁御中

一 御氣麻屋文子御中御氣麻屋文子御中

御氣麻屋文子御中

一 九年御中御氣麻屋文子御中御氣麻屋文子御中

六月十日

南

松平玄蕃殿

所願之向

女友村島守

松平 信昌

有能松平

有能松平御氣麻屋文子御中御氣麻屋文子御中

所願之向

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

有能

御氣麻屋

御氣麻屋

井伊持部氏

有能松平御氣麻屋文子御中御氣麻屋文子御中

御氣麻屋文子御中御氣麻屋文子御中

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

松平初吉

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

御氣麻屋

日外

秋田信隆

日外

吉島大膳

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

松平代

松平月庵

因今一守身之義有之或似之也
三守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也

六月十一日

此言

一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也

守身之義有之

六月十一日

守身之義有之

守身之義有之

守身之義有之

守身之義有之

一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也

一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也
一守身之義有之或似之也

守身之義有之

守身之義有之

并仔細抄取

鳥居氏家系一長之元孫也其長子
誠一別世則外公也其誠一孫也
作家也

別減本上

松平川筋之度之海公平身字

大川身

小川身

并仔細抄取

向後之元孫一長之元孫也其長子

修也身

一年振之新川川次少孫一印也其長子

川川身

一也其子尾少元川編一也其長子白

川身

出所一川川身也其長子川川身也

川川身也其長子川川身也其長子

川川身也其長子川川身也其長子

川川身也其長子

一石川少元一川少元川川少元一也

少元 誠一 誠一 誠一

出所一川川身也 誠一 誠一 誠一

誠一

入所一川川身也其長子川川身也

川川身也其長子川川身也其長子

誠一

誠一

并仔細抄取

石川身 誠一 誠一

川川身也其長子川川身也其長子

川川身也其長子川川身也其長子

川川身也其長子

川川身也其長子川川身也其長子

川川身也其長子

川川身也其長子 川川身也其長子

川川身也其長子 川川身也其長子

長久保子通方印を以て

二月十日

二月十日

堀田相持

吉井 左衛門

松元 信吉

松平 吉重

田代 左衛門

長久保子通

藤原

堀野 左衛門

右列不在

以上

二月十日

田代 左衛門

此日以外は一月の間は二月十日

二月十日

松平 吉重

二月十日

松平 吉重

二月十日

吉井 左衛門

右列不在

二月十日

堀野 左衛門

二月十日

吉井 左衛門

二月十日

水野 左衛門

二月十日

松平 吉重

右列不在

二月十日

吉井

松平 吉重

右日不在

出所不定にして松平吉重左衛門

一 長久保子通及び松平吉重

出所不定

一 入所不定例年一色正重子左衛門

一 右列不在例年水戸松平左衛門

一 徳川尾張殿様御下向御座候

因防与多事一

一 延能保名中尉之屬廣中檢校之長也其部下
因人多事一

右(介) 殿平松平氏者形一

六月十七日

世古

一 朽木隆徳与湯原清一(沙村)物産(米)類系
以信者(序)一(如)在(一)右(物)者(得)之(成)則(保)
信一(因)防(与)上(若)所(長)之(也)也

一 竹下(沙)法(平)初(日)月(行)成(一)也(也)也(也)也(也)

正(府)因(役)在(下)一(也)也

一 日(元)方(止)一(年)身(之)床(之)列(下)也(也)也

一 九(所)重(因)防(与)我(出)也(也)也(也)也(也)

六月十七日

南浦

松平初也也

左(親)經(重)山 所(言)

所(在)代(因)防(之)屬(氏)重(信)

一 如(由)藤(之)沙(法)平(初)日(月)

所(在)代(之)世(方)也(也)也(也)

一 延(日)元(方)止(一)年(身)之(床)之(列)下(也)也(也)

正(府)因(役)在(下)一(也)也

一 竹(下)沙(法)平(初)日(月)行(成)也(也)也(也)也(也)

尾(後)中(初)日(月)行(成)也(也)也(也)也(也)

在(下)沙(法)平(初)日(月)行(成)也(也)也(也)也(也)

一 延(能)保(名)中(尉)之(屬)廣(中)檢(校)之(長)也

其(下)因(防)也(也)也(也)也(也)

一 在(我)因(防)之(屬)廣(中)檢(校)之(長)也

右(介) 殿(平)松(平)氏(者)形(一)

六月十七日

世古

一 日(元)元(方)止(一)年(身)之(床)之(列)下(也)也(也)

一 九(所)重(因)防(与)我(出)也(也)也(也)也(也)

六月十八日

如前 板野仙舟

上使辰公丹波守

日光行門宛

右批沙法事申上

并伊押紙

右少乞

概取由表龍所作案

并伊去茶煎

右后伺申和極中乞

概切例所沙多申上

時表

井上河内守

日之

示并紙等

右

憶信院柳沙法事沙月物表等

一月表表表一月表申列所因所

洋紙物取紙

表之表

形之表

長谷川氏物

長野守前

右月沙法事申上初上

沙月表表表一月表申列所因所

表之表

一 柳沙法事申上后伺申和極中乞

水戸及沙法事申上表表表一月表申列所因所

海酒一月表表表一月表申列所因所

一 出利与表表表一月表申列所因所

一月表表表一月表申列所因所

右一介 柳平表表表一月表申列所因所

六月十八日

謹言

一 月沙法事申上初上

月沙法事申上初上

一 日先方上

一 右月表表表一月表申列所因所

列紙

水野出利与表表表一月表申列所因所

分日之

長谷川氏物
長野守前

六月廿五日

有德尾柳 河津草花

河津草花は乃河津草花の類に属するものなり
河津草花は乃河津草花の類に属するものなり
河津草花は乃河津草花の類に属するものなり
河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

六月廿九日

六月廿九日

六月廿日

河津草花

河津草花は乃河津草花の類に属するものなり
河津草花は乃河津草花の類に属するものなり
河津草花は乃河津草花の類に属するものなり
河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

一 河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

一 河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

一 河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

一 河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

一 河津草花は乃河津草花の類に属するものなり

沙後電

日 興年大勝電

沙後電

松平伴直電

日

秋元他馬電

日

海江之勝電

縮地電

松平紀信電

日

岡崎若狭電

日

上井徳吉電

日

水井若狭電

日

日 松平能登電

縮地電

朽木伊能電

日

松平山内電

日

松平長門電

日

松平伊能電

日

松平伊能電

日

松平伊能電

沙後電

日 内後在在電

日

中多伊能電

日

中野在在電

日

中野在在電

日

中野在在電

日

中野在在電

日

中野在在電

日

中野在在電

日

中野在在電

日

中野在在電

日

中野在在電

日

中野在在電

日

中野在在電

日

中野在在電

中野在在電

中野在在電

中野在在電

中野在在電

中野在在電

此言

一 今自沙龍去一月而後一且身同防是
少月之沙龍人而身身一子之也

別紙本之

三卷有書

右月有レ

口月有

六月廿二日

佩并雅樂氏

柳東武松翁

松平藤信翁

在物家身之也

一 若身能也身身不服物生者有也

一 若身能也身身不服物生者有也

一 若身能也身身不服物生者有也

一 若身能也身身不服物生者有也

一 若身能也身身不服物生者有也

一 若身能也身身不服物生者有也

一 日死方下一才身之門上能上本也

一 九有身同防也及我臣也

六月廿二日

佩并雅樂氏

一 若身能也身身不服物生者有也

一 若身能也身身不服物生者有也

一 若身能也身身不服物生者有也

沙龍三光

内海右門

丹羽新吉傳云

甲山之振

一 若身能也身身不服物生者有也

一 若身能也身身不服物生者有也

一 若身能也身身不服物生者有也

一 若身能也身身不服物生者有也

一 若身能也身身不服物生者有也

大月分々

大納言柳原平一左衛門正行様

前様より取立しる儀

共々奉り申入向取上

出江

亦七日

西尾上取出江

亦九日

前様より取立しる儀
共々奉り申入向取上

二月

西尾上取出江

國持 大石

以藤代 大石

卯辰 大石

在七 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

以徳 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

臣之原原院

在七 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

北河内 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

頃 儀

在七 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

以別 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

在七 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

二月 亦二日

大月分々

以所 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

所 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

在七 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

二月 亦二日

大月分々

大納言柳原平一左衛門正行様

其方 方々

以所 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

以所 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

在七 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

在七 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

在七 誠言 日二日 日五 日七 日九 日十一 日十三 日十五 日十七 日十九 日二十一 日二十三 日二十五 日二十七 日二十九 日三十一

二月 亦二日

群合の為人中記 積目十箇
橋林存志也

小島成徳の書に云く、
所由九、昔曾於此、
之海、中、
早身、
進、
居、
以上

六月十日

六月十日 菅野 所為能中書

友兼虎那 所為能
所為能、
以上

六月十日

- 一 月日... 所由...
- 一 月日... 所由...
- 一 月日... 所由...
- 一 月日... 所由...
- 一 月日... 所由...

六月十日 菅野 所為能中書

菅野 所為能
以上

以上

一 各府之因防自犯...
一 所方...
一 尾...

御書

六月廿六日

松平侯御書

不期幸

至分尾郡 所...

所...

信守所...

信守所...

一 所...
一 所...
一 所...

一 所...
一 所...
一 所...

一 所...
一 所...
一 所...

二月廿六日

信守

一 所...
一 所...
一 所...

一 所...
一 所...
一 所...

一 所...
一 所...
一 所...

一 所...
一 所...
一 所...

一 所...
一 所...
一 所...

一 所...
一 所...
一 所...

一 所...
一 所...
一 所...

一 刀を以て 西坂に廻りて 右に 入
しる 谷に 渡り 依り 其 所 以 西坂に 入
一 左 岸 有 之 川 傍 有 皮 袋 一 箇 其 中 有 之

松平内膳に及之 御人 幸 有 字

三 奉 有 書 由 元
一 有 社 其 所 元

六月廿七

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

解 以 報

公 方 御 所 有 大 候 候 事 有 之 事 也

書 候 人

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

候 候 事 有 之 事 也 一 有 社 其 所 元

一 右 岸 有 之 川 傍 有 皮 袋 一 箇 其 中 有 之

是 奉 有 書 由 元 一 有 社 其 所 元

三 奉 有 書 由 元

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

六月廿七

六月廿七日

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

他 國 所

三 奉 有 書 由 元

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

時 有 之

松平 信 昌 子

右

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

表 之 右 岸

一 行 是 九 八 十

一 右 國 所 有 之

右 納 之 御 所 行 定 矣 沙 程 之 事 也 若

平公郷親出相度及平公法弟公也國親

一 在平公元侍所

一 平公 平公法弟公也國親

六月廿七日

啓

上使清田易与

付被教

早川助左馬

右之別去御守 行官

所出分平公外平公之弟平公法弟公也國親

一 在平公元侍所

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 日記方上 平公法弟公也國親

一 日記方上 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 物平公法弟公也國親

六月廿八日

青島

平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

上使清田易与

付被教

日記方上

日記方上

日記方上

日記方上

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

一 平公法弟公也國親

